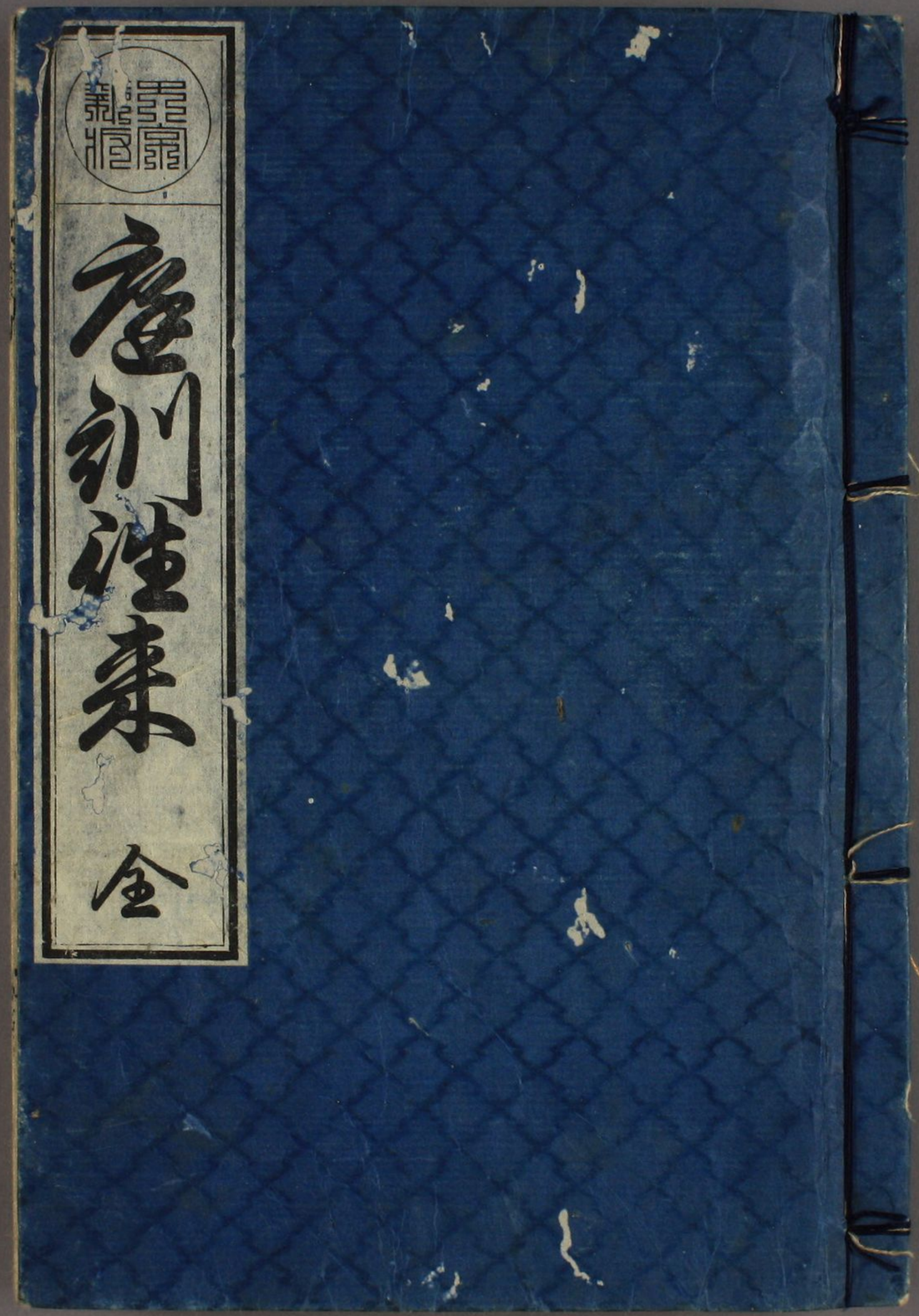

全

苗字盡

今川　板倉
市橋　伊藤
伊東　池田
岩城　射越
伊庭　阪尾
阪田　市奥
攸野　阪沼
一色　猪俣
唐原　升上
今井　石堂

大曜文庫

座川謹来
春嬉帝悦而貴方先
祝中の祝當貴万福
猶以幸甚之拾歳初
朝祈之以翔日元之

升伊　稲田
稲毛　稲葉
稲垣　生鳴
生鶴　泉原
後谷　今村
牟嵐　紅葉院
六角　六郷
畠山　長谷川
長谷部　塩須賀
波多野　葉室
坊門　太師
坊城　馬場

次一二忌中之処於後
人々子有遊之間乃忘延
引紅苔鶯忘檐花園
小蝶招青衫頗宵本之
候年將又楊弓雀小弓

茅房　初廉
初田　速水
早川　羽田
羽柴　塙
伴　京
畑　林
萩　太生
榛原　榛澤
溪名　萩野
萩原　服部
西尾　仁科
丹羽　丹生

勝負笠懸小事之會草
廉圖抽之遊二三九年更
八的未曲節迎日打續
經營之孫詩者射手地挽
達者少々有所藏門

蜷川　錦織
仁田　仁木
新田　保科
小条　細川
塔川　塔田
星野　本多
本田　本庄
本間　本郷
穂積　戸次
日並　別所
逸見　別府
戸田　古肥

思石立法作古聖之心
事陰陽内未會之次要
不能屬毫之謹之
正月首大慶尉殿原賀
謹上石見守敬

古伎　古升
徳山　茂堂
冨田　常彝
徳奉　冨樫
豊後　巻田
外山　敷村
百々　鳥居
中條　子村
子茶　千種
千原　沼田
沼津　額田
呂村　岡田

改年之吉慶社任言
惟之條先以同方度覺作
自他加華子弟之清
芳札披見之雲文青陽
遊宴肆珍重作堅凍

圓新長田
長船奥平
織田小田
緒形小栗
小野小櫻
小山小淺
小原大原
大内大伴
大庭大江
小笠原大谷
大和田脇坂
招屋直理

畢晩薄霞忽披。即の
促拝住ヲ如。月他夜深ふ
惠ニ知也。百手達者。
究竟ニ上手一表挙。
今同道ニ。組的矢墓

彎田彎尾
渡辺分新
和佐和田
和氣鵜野
加納桂
河原加茂
神谷神戸
神崎風早
番山高力
川端河合
河野上坂
上月上林

同木。無沙汰憚入ル。一種
一瓶ニ。荒中裸役賭ニ
出物ニ。高ニ無乞乾。
内ニ一ニ沿ヒ一ニ第一ニ掛
若ニ易。不及一二。侮和

葛西　葛城
金田　金沢
金子　片桐
糟屋　梶原
蒲生　蒲原
蔭山　猪倉
猪田　春日
葛野　樫田
梶野　竹内
玉田　玉木
伊達　多賀
大原寺　武田

面謁之附ハ忘之謹之
正月　石見雪中原
謹上　源左衛門尉敬
面拜之　後中繼良久坐
恨如山　何附の要之霧

多田　立花
高階　高倉
高橋　田中
田原　田村
吉田　横山
吉野　茱源
茱倉　茱我
茱根　十河
霧沢　塚田
塚本　津田
津村　筒井
辻川　柘植

哉。緩如海嶽。紀行千
悔之。拍醍醐。雲林院
花濃香芬之。自是盛之。
遂識吉野山樓。宴茲交
條之。稍繁。雖跡止者

古屋　新筑
津守　津山
根津　根来
根岸　猪間
中川　中井
中西　中須
成瀬　新波
名和　内藤
南條　南部
永井　長坂
長尾　長束
鴻鴻　蕪河

此書之年詭然而遊光
陰外。若不好士。諸家狂
仁如雲似龍遠而之若生。
家物僮僕雖合於先
迎隨之名若以前之

名張　名越
中根　楠林
永野　半井
永田　長浮
梅村　梅園
梅溪　村田
村井　室賀
村上　室積
向井　海野
樋村　宮磬
宮伝美　卜部
内海　臼井

儀者立事外。隨為左道
之相。以異体之形。明後日
所同心外之本望之。連歌
家道。和尚達者。一友業
一名所議門。以其次詩。聯

臼杵　上田
上杉　裏松
椎松　上野
宇賀　能見
野呂　能勢
野村　楠
倉橋　倉谷
窪田　工藤
杉木　熊谷
九鬼　久世
久下　久我
楢笥　貝下祈

多之諫。同所里下。破然不
行間。未之恒。是一路死
硯。懦紙不一注。懦中。然
心底之趣。難遇紙上。侮
敵。來會之次。不具謹之

山田　山科
山名　山川
山本　山村
山下　山番
山中　山路
山井　山口
八代　八木
矢祈　矢田
築田　安田
安村　安井
柳生　柳澤
山内　蔣田

二月要旨　彈正憲之吾
謹上　大監物殿
猶自是令申之處。
就世間之間。
於會之。相恭下會事。

間祈　吉墅
増田　増山
松浦　牧野
菊田　菊川
松下　松永
弓渕　曲渕
福井　福岡
福本　福嶋
福田　福原
紀載　菱谷
菱江　菱枝
古田　古川

菊馬風月之好士之不學。詩歌管絃之加齡。近年之方也。臣勤進之体相叶。本懷之式。後苑庭前菊。源山義樹之樓。織以

古林　小西
小泉　小出
小牧　近菱
巨勢　後菱
叁田　惟任
惟任　文鳴
児嶋　児玉
福井　小石
小畠川　福森
長越　長塚
寺尾　寺田
寺井　寺本

開發之中之。春今明之間。有暴風森之。其命事也。同之所財者度。不之存之。和歌之隨行人也。亦人之古風。東兄長歌。禮前

寺津　寺西
岑川　釣竿
淺名井　花鳥井
阿弥沼　芦田
有賀　五万
麻田　渋野
渋井　淺山
淺利　秋麻
秋田　尼子
甘利　青山
青水　青木
荒木　在原

旋所混和。折母。当冠之風
情。輪廻。侍影。打戦。旅頭
之体。詩。聯母之飛。汲愛敬。
江家之西流。更忘席上表。
賦頭。俳縫。韻契之。僕頻

朝倉　足立
安達　足利
安茂　安宅
安部　赤松
阿部　赤井
赤里　赤坂
酒井　桐良
桐馬　真田
榊原　佐泊
佐竹　佐茂
里村　雑賀
西条　小枝

如猿猴。似人同。蛍火猿燒。
結局。計加人数一分之。殆
一猿。後月之恥辱。桃花。發
母。賦物。以下才学未練之
母。当座宣。一及而面。

里見　坂田
佐治　佐久間
菊池　小川
小村　吉川
吉良　京極
木个　木曽
木村　喜連川
喜川　清原
木股　湯浅
結城　桂佐
中良　弓削
中利　毛交

聊看周之中衆訖。今
致如形稽古。公私之忙
之事。不運毛峯之譚之
二月廿六日　監物坐源
謹上　彈正憲敬　以返事

三木　三浦
三好　三谷
三宅　三村
三原　安城
安本　安倭
水野　水馬
水口　壬生
澤口　三輪
西陰　箕輪
箕作　芝山
柴田　志村
白川　白井

祝之於大今之陰事四月
猶以孫重之。慶賀遊目
重無。恐迎年繁昌。自
他不可孫限。今之未賀也。
拍御領入鈔。世相遠之條。

篠塚 篠原
鳴田 鳴津
伝田 伝吏
宍戸 神保
滋川 滋谷
鄭波 新庄
釈雅 春茂
進茂 柴井
柴村 代田
清水 滋賀
滋村 小津留
小河辺 滋野井

先府神妙之重。盛之。牝之
河武傍乗之境。汗陌。鄭
一云混乱。他所。故清廉
之。沙汰之條。奉公忠勤之。
厨椀服。其和遠之。軍課役

清水谷 伝楽
江馬 江良
遠茂 江田
清谷 平井
辻田 樋口
菱川 廣田
廣鳴 廣淑
廣橋 平田
一柳 平川
平野 平山
古方 日野
桃井 桃田

沙汰人。余。地下。同録。記
以下。文書。海例。納法之注
文悪。一云石進之。客陽之
掌。陽田之族。為飛科。一云
沙進交名。且零。紀業之

裏田 喜川
喜本 毛利
皇月 宮上
守口 守部
鳥屋 物部
本橋 淅山
関 淅川
浩高 関口
関戸 淅尾
仙石 鈴木
杉本 杉原
陶 杉浦

事無相水干之年須斗遇
廻之地法致而勢有之岡
能之地拓居農人之宴發
之於の住用水之便之為去
民之役一隅固堤井溝之

杉山 鷲見
祇防 村主
須愛 首愛
須田 須原
愛原 愛生
愛沼 隅田
菫字蓋 結

諸書認之式

一經冊の出ゆうは
言杉ゆて上の杉
目に出字うけて

細御正能之動農除廻地
撰藝田之志今不行種子
農料促勸歌利平之眞
令耕作穀糯畢稲晩稲木
西收於一預春法院法

書なり墨つだは
図に。下ゑごとく
二度に清ぐなり
古字は下の白一
字さげて出よみ
字に名我かく
とれは上の白下
の白とりに上我
そろへて書なり
如ち名我書は
出べし影は二字
までは一行にかれ

四字以上より
二行に書なり
五字より二ツ
に分けと分ぬべし
除る左の図に
よりて知るべし
上の書出し其
字と其名能
字と能字書
だぬゆうにそろ
得て書てむ
無し

御館造作事。不可名
別作事。其門平方樣
大塀。千間一周之築地樣
門。唐門有斟酌之儀。於
平門上。其家醫門之書。一

[illegible]

帰雁	[illegible]
月	[illegible]
	[illegible]

相計之様致度候寝殿者
板庇廊中門渡殿者萱葺
板葺侍御厩會所囲炉
裏之間学文所公文所
政所膳所贄所樓殿局

一 色紙書様の別
ニ宝の字例色
に風流ますき
よく書をよしと
是も短冊
と認しく書
また書ざ添
おもむき書なり
墨つぎ短冊よ
同じ事なり
左の図に記ま
ス合ましし

紙屋紺屋桟敷健児
所之贄殿者一支度之
南向之通笠懸馬場
結構四阿築山東西
者構池鞠之坪植涅

左体

初春祝　大平

民州のまつりゝ
ことのぞうとめも
きみを多代ゆと
いたゞ初たる

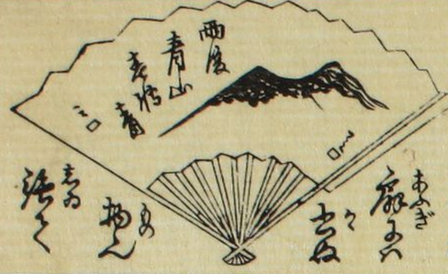
ちらし出

焼火　まつ
かけつ　ふもも
多の　ゆき
ぞとの　ぞ
とり　火

一扉に掛成出にハ
書始ハ貴にて
らね掛によりて

本然。采水。立石。築山。
水。任眺望。路方角。芝穢
悉。掘。一和計。桐續容
敬。一立檜皮葺持仏堂。
禮堂。庭室。体而生。先

出べし。画ある扉
ハ画にからねやう
ゝ行く出べし
出体ハ左右ちらし
ちにあ出たゝ
紙出べし元来
扉にハ
出ね
掛ん
活く



修葺之。侍文の様に出藏文
庫。其中間屏之。後園樹
木。宿碑。行。最栽茶園。同一
桐植之。社仰下條々。無怠
慢。社勤仕。一社忠貴之

人は死をまぬかれぬ
止事を得ざる時
のんずるなり

萬呪術妙方鑑

一 癰疔を治る法
まづ灰紙地に
書付て置足
の下に踏つけ足
形の上へ気をこ
めて吹ばた
ちまちなほるよ

有和歌御会候哉

三月吉日　玄蕃允平

御政所殿

被仰下候條々具承畢

聊不存等閑之旨

落るなり
又方 生る田
の蛙を取ての
うへ耕を寄せ
その耕のまゝ
中に田の蛙
の中に置よ落よ
落さらば元の
所へかへし助く
座し落ちぬ落る
八命をおるべし
とくりえして

下文御教書厳重之際

入部使節治定之上被

所令遂也沙汰付吉書参

擬以吉日良辰耕作業

家中也地下文書事式

よくく云合めそのまゝ拵垂田にしたひ出枡の縁より高蔵是ばかとり蔵るなり千附田にしの元居る所へ敷ちえし出るべし

▲森小役を治法

森小役を見る人の蒲坐の下へ

紛失或失隊云。清乱之里。沙汰人尓。伝揉中延引之条。恐合事之實否。又云貢貢数尓。為捜追の中。注進之。江紙事を。樹

紙を受て取たり

にぬ見てるを思

撓にして無せば

治まるてと然ん

▲森病を治法

ことをとらぶさ為

垂さでの売乃

蓋成こり火は

なるほど赤く横

彼ならの上に垂

その上に小役を

れば如何ほど重

梁桓。長押。棟木。板数枝

本之内。蜘蛛之間。為松江

今能ゝ洗門。冠木。扉。簪

朱。唐居。数板。鼠。方立。

雲磨木。絵蕙。蟇。俣木。妻

アル病にても速
かに治ることなり
▲既痛根切の法
申の年申の月
申の日申の刻
申の方に向ひ
新らしきまな体
を既にかぶり其
愛人灸をまゐ
るに既痛治り
て一生の内ふさ

鞭搦鴨居。茶木。木数破
風。関板。飛擡。角木。縁。縦
桂。簀子。唐墻。遠墻。柴
垣。築垣。檜垣。杉障子。厨
子。連子。茶筋。障子。遣戸。妻

さび發らず
▲遣れ痛を治す法
むせ遣その外
一切その痛むまへ
白豆三つぶ汁に
さし焼て石地
蒸ゆる処のまへ
に埋ミ此豆に
芽の出るまで
痛ミを止めあへ
と立軽ましまゝ
治るなり

戸。織戸。沙。人。高。欄。穹。立。
扨。首。足。雲。天。升。縁。障子。
骨。株。樋。組。押。榑。襲。木。
拡。雷。水。心。背。地。具。足。
於。津。湊。一。二。寶。三。山。遠。

▲瘰癧の出来ぬ呪法
夏土用中丑の日小便などの中へ足をつけおきたるまゝそのまゝを絹まつゝ一所に後其足を年々入るべし其年の患なし

▲痛ぬ紙を切る法

斧鑿鋸釿要造作釘。金物之用之嵌鉸鉤鋲兼治冶金道具之細末。察修理職大工之下。巧匠所立礎居桓積

節分の夜古き箒をとりて其上に紙を結び箒の上へ貼置へし其家の夜おそく人の足へ此箒をもつて其まゝ枕へ押ゆへし此箒をもつてかくちか紙を掛ひ其紙を紙をかくしく帰るへし

▲病痛を除く法
若箒をかけ紙

造棟上之番匠採掾陽。察可定下次樹木柵梅。桃李楊梅枇杷書棕櫚。梨子椎榛栗橘柑樹漢。柿柑柚子楠雲栗梅金

とて病を治し
多人一生苦痛を
ちぢやへしとかく
まへ治るし
○田虫を治る法
生なる青蛙を
ゑて数さ擦る
その上より右
此蛙の脊を
も服して
から治田虫の
上を擦りて蛙へ

棋梅ハ不及雙令植
極ハ年。樹法目池可植
依ハ地。諸事隨下知
子細ハ御領田堵士民。
名主在官不存稚令参。

元へ放ち遣る
癒し此法かん
きん田虫にもよ
又方田虫出来
る処ゆび指にて
中ぬ田虫と云
その人の鼻紙
を丸て出る指
を拭ひその紙を
包みぬぢて川へ
流し捨るべし
○消渇を治る法

未練居ハ責伏後之。
条上申令有可令
被仰遣也。恐々謹言
三月十三日 左衛門尉藤原
進上 主計允殿 清源寺

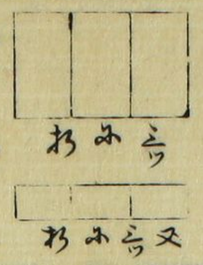
女麻の皮を蒲
蟲の下に愛て
痛るなり
一火傷の呪法
胡瓜の赤く熟
たるを去絶蟲
抱に入れ煎ば
目を拭て水と
なる是を絶へ煎
て付べしたるなど
妙なり
又方 [illegible]

久不啓業間之間不審子
万何不業事哉相語頃
興行所黎民之竈朝
冬之煙原昔性之門事
業繁仁政之基而致之

版粮我そくいて
にねりて付るも
妙なり
又方 灰汁のこれ
ゆ手我付るも
奇妙なり
一同にいふ火傷
に水をかけるなり
大いに悪し火毒
まもく盛んに
なり甚しきは
命に拘るもの

黄野叢重知人之堪否
理兆分明糺物之奸恋之
万民所為之公存寛容
之校強不好之浅際之而
頒静謐之基之不一吹

なり第一消で
叶はぬ時は小
役を見るがよし
心得重べし
▲血どめの法
紙を四角に切
図のごとく



是にて押せれば
とめるなり

毛求ム之息ニ疵ヲ凡先首
江ニ仰ル市町興ノ旦船着
岸ノ津ニ安ニ鵜山ノ漁捕ノ川鵜
野牧ニ事ニ定テ江ニ鳥ニ行セ
市町ニ通シ辻子ニ小論ヲ今ニ撰ヘ

又方地の上にても
も墨の上にても
麻子又ゆびに
ても左の文字を
かれ
鬼ク人 此書ニ物を
縦とおさへて
ゆるむべからず
志ばらく 押へ居
て 手をたる毒
ゆ紙とあて肉人
学先を納める
なり人はどく

見世棚ヲ絹布ニ類ヲ贄ニ菓子ニ
有ニ賣ニ買ニ便ニ拍ニ一ニ江ニ拍ニ汁ニ
也ニ一ニ拍ニ居ニ業ニ飛ニ治ニ濤
物師ニ巧ニ匠ニ書ニ匠ニ木ニ石ニ安
金銀銅ノ細ノ絲撥ニ染ニ敵ニ

引抜まばまた血出るなり

▲婁血戒留る法

婁血右の方より出る時は右の手の小指たの方ならばたり無方より出るなれば無手の小指を紙撚にて引かきなどに従とり無び留るべし

綾織繋瓶絹樂牧士炭燒樵吏桂柏師藤猫沙塗師前繪沙唐紙師紙漆傘張簑蓑且船人水主揖取漁客海人菜砂白

▲蟹にさしまるを治る法

さし人の足元にある石尾或は漆和の手又は草履こうじにても為あふ物をかうじて表をらくふまん居れば其ふまんに治まん

▲蜈蚣にさしまるを治る法

粉燒搖戒鳥帽子打高人沽酒飛造弓矢細工深竹去器化薺沙砂塗猟師猪人猿樂田樂獅子舞傀儡沙琵琶法沙

鶴のふんを多
にて氣付るこれ
こゝかに治るこ
▲歯ぎり者を
止る法
神る小屋に
まさりける豆を
本人に知れぬ様
拾ひ来りて細に
して食物に混
ぜて喰せば止る
と妙なり

縣法子。領城。田稲子。拾安。
疾。数々。軍。妾。醫師。陰陽
師。繰師。紙師。櫛。縫物師。
武藝。相撲之族。或禪師。
或僧。聖道。淨土。頌学。

▲呃を止る法
手の裏に指
にて柿とりふ字を
書こまれ掌さ
まれば則止むこ
又法柿の屋に
甘草少しくるく
おもゞ服まれば
相ゝ宜し
▲目に物の入る
を治る法
清水少しちや

教。審。家。学。生。淨。途。約。若。
効。途。也。儒。教。者。聖。人。紀。
典。紀。經。儒。者。明。法。明。明。
学。士。詩。歌。家。函。管。法。上
手。門。聲。旋。聲。聲。明。明。一。念

椀に入れ垂見を見れば入る物の自然出るべし

▲迷ひ子を尋ぬ呪法

卯月八日の花を取り垂まよひ子最ねるとき彼花を竿にくゝりつけ立かけ自然をより増るなり

▲まむし蛇肉人

他会名僧。捨所不勢。沙汰人。清書草案。手書。上名。帳名。絵出。梵字。漢字。達者。定者。利口者。安者。博説類。絶倫。仲人。小。尤大切。招

入ぬ法

正月どんとに燃のとりたる行を常に刺ひ入口にて又家の四隅の地に沈し垂べして入る事なし

▲木の子類の毒消の法

松茸その外なきぞこの毒に中りたる事に古歌

居有屑族一言任公私役無事移後日心に浮之

卯月昏　前栄女正

中勢巫覡

被仰之有畏洋見往下

かし湯にさそ
のむべし又地に
水を流したら
だひて香もよし
又茶を水に
志めしたる水我
吸てもよし
▲喉に骨の立
たるを抜法
立たる骨の形
を志ばらく所に
いでき載て居

乾牝牛皮清事出蔵
七座と店諸國と商人旅
客宿和運送賣買津志
今立所交易合於公私
潤通細事如此哉宣役公

まべ抜るなり
▲疾居の難を
逃る法
我むかに鬼と
いふ字を三字
指にて出べし
怪しき物に逢
となし
▲忌ふ附目を見
ま法
疾病る附に左
の掌に大の字

事臨附課役月通上分
前季年貢不可遁避乾
凡京所人演商人謙倉能
物宰府交易雲兵庫船
頭渡川風刀称大津坂本

三字出舌よく
なめ樹よたの文
と出なり
あれあんふぎりせん
さいあち
次よたの欲こべん
喝ふべし
こうちさけてあくるも
知らぬ拂りしが
知れ驚かせこの
まくら神
▲こゝろがくを治法
本凡そこゝろを
なづ是が書妙よ

馬備鳥羽。面川車備。泊々
備之。湊々。乾浅浦々。同九。
同江割持進上之。任俶載
運送。次大舎人後。大津
練貫。六條染物。楮熊絹。

治也り本凡なれ
時は本凡ことこと
無し喝てさすべし
▲足の足を治也
浦ゞなひ
そのかうく。此
文をこ無ん喝人
て小刀の先をて突
まるをこ度すべし
▲蛸成ゆるゝふ
まる法
煮ろ時ふのりを

宮治布。大宮絹。鳥尾鳥帽
子。靈町伯樂。玉鳴逆。浪滅
亡君。忝良刀。高野刺刀。
大原墨。新小野炭。小栗。伝城
敵扉。仁和寺眉化。姉小路

くまは打鍋のうへ
よりこゝぞんまへせば
ゆきとうに取るなり
若ふのりを名前
せば鍋とろけるゝ
▲魚を焼にあふ
に付ぬ法
魚をあふにのせ焼
人の跡のうへをこ
ぞん上しその後
火にかくるべし少も
焦付てとなし

計。鞍馬。本牙漬。醍醐。鳥
跡布。東山。西山。今。此外
加賀絹。丹後精好。黄濃上
和。尾張。父。絵浴布。者陸
紬。上。絵綿。上。総鞦。武蔵。絵

▲拂本にむしの
付ぬ法
芭蕉の葉鶏を
ゆき行の筒紙
逆にして底紙
上に置き底に
穴をあけ糸紙
無し焼る鶏
をこの糸にて鍋
逆さまなぐら樹
に鍋おけば拂之年
少も虫付ぜ

佐渡。当。絵。焼切付。絵鐵。簾。
讃岐。秀。雁。同。檀紙。播磨。杉
原。伯。和刀。出雲。鍬。甲斐。弱。
長。平。要。物。令。伯。中。鍬。鐵
後。信。隠。岐。鮑。周。防。鞍。迫

▲小児の夜啼を止る法
白檀香を袋に入て腰にさげさせ重べし
又方たの前を出て小児の様る上にたり又不行ち袋に入て重べし
蓋ひくなたたそあたの夜のなづきおのひたりまぞまされる

江鮒泣鯉出佐杖木安藝
樽能登海鴨後酒
和泉砧若狭椎宰府紫雲
賀毘布松浦鰯更鮭漆
筑紫穀或矢田唐柄云蘇

▲疱瘡を輕くする法
古た笠をば小児に頂かせ香隠をまさがせ竹にて香隠のつぶを三ぶんかれ旦し此界を笠の上へかとまた千後笠も竹も川へ流すべし疱瘡するとしたとへ出ても実に

珠柄如雲似花交易賣買
之利潤頼也口條又條之辻
性来出入無穢不失京紅
蘇倉凡法願豊饒而早乙
人之當為歴化家風為尚

又法 節分の夜いりまる豆武雅茶碗の主人の名を書て埋めべし
小児の疱さうきらめて軽し
又方 出生の子を年の節分の夜産土神の鳥居右の柱の根へ煎り豆二埋むべし

大小之神祇冥衆降下
向後可被知食悉須催進
返遠事者違之忘之讃之
四月吉 中務丞清原
進上 家安正殿

埋め疱瘡安く以ても相中と知ト云べきものなく軽くするん

一痢病除の法
夏の土用中小豆粥の中へ蕊の葉云全く煎喰ひ其年痢病をなやむことなし

一安産の法

忝久預恩顧積寿如山
何被勝豪兆西侯之
更無謝縁繁多余念招
関東下向之大名高家之人
以隣次役可軒寄之尚闕

門の出かしとう
八月めに袋に
入れ穫に付き
隙月にのめた
安産すると妙
なり子産れれば
る時は良若子を
多く極れバすみ
やうに平産するこ
▲初ての切ぬ法
夏の古用中の
西の日に流亂

千度作。杉花。草葉刀を喜ぶ。
貧具又苦ぶ。武之ふ。鉛枝
持ち。雖隙今度形擧。出
助成ち。生最大幸之。隙間
宿人纏陰外。花。率尓

を煮ゞ生汁を
手足の甲にぬ
まバ冬に取りて
も初ての切ぬこ
▲私中の雖を
免ゝる法
私に當まへに
小役をしてゐる
べし池ゑ水
雖ありと知ゞ
又私に當まへ
私の際にて取

經營。周章之。武。忙然之。
隙世石之。而里下。縵幕。同
串。高簾緣。無。源緣。若
莚。屢風。帳。羅。蓋。北。
備ち。以人。吏。の。逸。法。之。

を廣げうつ向
て股より私中
此人我ゆるべし
両仲は疵あり
或ひは一眼の人
う何にてもあや
志れ変をゆるべ
主私に乗るべ
うゝ浴究めて
雖私のうまひ
為ことのみ
呪法證終

外打桃子。金色挹。青漆
拭。茶碗具。掃熱盤。門入
合子。四盞。油蠟燭。鉄輪。以
个進源交。悪以備餘。至使
者之。取人。若業。無取來之

百官名盡

左京　右京
内膳　主水
左近　右近
大膳　修理
内記　監物
舞人　主膳
安宮　外記
主馬　将監
中勢　弾正
武部　民部
公部　大蔵

仁木。皆以世身。田舎人之。配
膳。動盃料理。庖丁。或盛物
以下。故実識之。一夜掌。一人令
雇給之。弟子。年成父母
思以訖。敢以不一。為弃指

刑部治部
宮内内匠
圖書内藏
大学主中
左馬右馬
典膳穀頁
帯刀縫殿
雅楽伊織
市正主殿
掃馬主杭
采女大炊
内舎人頼母

侯部来拝不具謹之
六月九日　左京進平
進上　藏人将監殿御鈹
不審勇之処　玉章恐和
来更無賠解　特以便宜社

助蟹　玄蕃
掃部　兵庫
隼人　金吾
左三塲　右三塲
左衛　右衛
造酒　壺
物集女　囚獄
織部　正親
瀧口　大武
少武　大進
少進　数馬
志摩

桃細之起　本里之拍賓
光臨結搆　奏竜牟參而
社備用之　具豆拉而持分去
姥蟹　火神　蠟燭　基隨不社
載酒文　而進之　能来馬　豆

東百官名盡

左門 右門
左中 右中
中紀 左内
右内 中
浪江 湧寺
兎毛 波門
平馬 兵馬
岩尾 左平
右平 織江
要人 司馬
男也 自然

秣糠米味噌鬼酢酒漁
梅安初秋料海月熨平蛇
梅干刺物之干鰯魚蛇干
蛸魚形蒸海鼠生物之鯛
鯔鯉鮒鯔魚胎魚雉兎

多門 大許紀
小木紀 半外
平角 宮門
鵜飼 男依
丹宮 藏主
青門 一学
丹沢 門沢
矢柄 森内
清紀 将飼
武極 主尾
牧右 軍紀
司書 諸頭

鴈鴨鶉雲雀水鳥山雪一
嵩漁青々鮎白干鮒黒作
鯨楚割鯨漁門鯀鮪鯖漁
漢干鳥干兎干麻干江豚
鯢蟯皮鯉掌狸沢渡猿

男使　首令
一問多　喜聞多
志津愛　丹丁
求馬　久采
右膳　右膳
小膳　典礼
典女　遠炊
主祿　采发
采发　正生
古仕　梅干
发馬　織居
交内　直

本知馬鞍蟹味噌海鼠腸
雞腸爲賊辛塩栄塩蛤塩
交雜喉氷黄菜或買貳或乞
索今進之不猶以不足之事
以三宿使者之後之

恰　鴉
東西宮名経

書札認之大旨

一史書札ハ其
志我画るもの
なれバ宮案
叮嚀ニ文言
分ヲ安く經ク
きれ若とは無
用の文をかた
續りてくどく安

六月日　大史將監大江
左京進殿御報
此日之御連々抱名生意
密々雜談誠不可思之
相世之院屋靜謐之為

ハ宮見ぐるし
又文字に加え
影ハ其事ハ口
にて画るとハ角
立て彼ゆるもの
なり能く心得
げまゞ名ハねこと
にて人に服立
するとあり古語
にも文ハ語を成
ぶるし語ハ言成
画難しといへる

鵜鶘道遙欲心来今知。
謀叛反逆之凶徒已業策
之輩盜賊狼藉之悪業今
蜂起に囚之山賊海賊強
竊二盗徒業今横行雲

ごとく俗通乃
用文といへども
まことの達者へ
いと拂ふよくく
学びて人を英
を汚ぐべし
竪文の寸法の
ことハ先紙の端
より書初めを
の間と書留より
月日までのると
月日と奥の紙

奪却人之賊産追捕去民
之住宅剥却旅人之衣裳之
間乃謀伐追討大将軍依
詐殺而方之尚家之一族同
沈而彼戦場彼郡城郭追

の端をと此に示
いづまも二寸方
ゞなり是を二示
六くの矩といふ
但し横文の所は
月日と宛名との
間二寸六分に
書く奥の紙は
勝手次第に作
すべし又長文
ならば裏へ回す
事如編なれど

伐所楯籠之賊徒一發云々
要害云々固然迫日欲令進
發以之処此事戦場武具
案馬以下為有矣作法若
於證寄事腹巻兵以案暫

我名と宛名と
を裏表へ分別
べからず又表一面
に文を出切るべ
からず出行にて
も文を裏へ回し
さて名我出べき
なり然りといへ
ども料紙の大
小文の長短に
よりて例にかゝは
らず是事ひ我

小口助成以上一往以之今度
出立之尚家之眉目一門
先途之門無之人々一致粉骨
之合戦之事令絶諾作若
存命仕作之事會之附一申

当要とまだし
墨つぎ初めの
折濃次に薄
く又濃薄く云
なり是を濃湯
の筆ぶりと云
又折の中にて
墨つぐとも濃
の墨つぎと並
むね指にすべし
右のごとくに右
折てさて貴人

入之。就中將軍家出發云。
嚴重之上。不結出纔出旗。
之際。内威外威。一族令一揆
之上。且依戰功之忠否。且
路軍忠淺深。欲浴勢之。

の臣名行せる
まどの所ハ折に
かゝらぬ墨を
次べし是殺之
寄貴の御名
手外等むべき
ことハ勢じて欠
字とて一字明
て出又無用く
殺めべき事ハ
手行を除いて
次の折此上に

謹代相傳之分順一不殺命
之地之不立相違者也。依
不顧所命不殘仁義不侮
仁清浮容也之謹云
六月廿日 勅筆之管小町

墨こく文字
正く出し又
天子御号神号
などは無行の上
へ一字上て出し
こと是多様
憚りてし
和て出は上案
への文なは出べ
ちうぶ同案か
以下は附ゆるは
任ましへしその

謹上 海蔵 武衛殿
只今欲令進使者処 彦四
郎 高信 条相付本軍之
陣 此 悦 抜戦場 進 発
之事 疾 始 而 事之 綸

意は本文に出
就しる事或
ひは御の進物
などは界下の
仏行にて出る
是は本文の行
より二字ほど下
て三行ゆるゆ
に出べし
警礼の往後
状は竪文等
式とも墨也

有 院 宣 天 感 之 勢 式 令 有 发
尉 宣 之 兆 今 指 南 大 将 軍
副 将 軍 御 教 書 侍 軍 軍
勢 催 促 又 兆 信 周 沼 之 将 軍
家 御 教 出 勢 平 旅 行 而

猶かきそへける
指出べし文ハ
八行十行ほど
出べし是ハ法
数をさだむの
言なり書ハ隅
の数なれバ出べ
かし又文言の
中よ書隅文を
まるなどの文
字ハ出べからす
わざとくだけて
程よく書くべし

奉書之趣披之且如例且
先躰之不常沖法於修逆等
者為後學不貽自由於
三族殊之武藝高名
之者被聞之具覧也

是等の文字
をも書わけて
あり進物數ひ
これ本文の中ニ
御くの字進上
仕と書入る之又
手本物の数
たとへバ扇子一箱
かくのごとく勝く
よせて出べし返
出まへ本行ニ
書なり

可被擬捕之凡虜勿捕主軍
忠當一軍旅之高名之號
可被開高之源武具並陪覧
若のさへ於有篇黄系綾好矣
威系示之道亦華美之服矣

文字投の事
たとへば爲公様
より私方へといふ
べきを私方より
爲公様へといふ
ぶ正し失礼なり
仏語て我工を先
に出人を後にす
べからず
花押名乗を
何れも正しく
かくべし書人へは

唐綾小楼黒革縅大荒目
胴丸掃縄目絹糸威腹当
黒面袖臥方面甲各一
刎同心神無手蓋臑当
首涎鞍渡袴逆輪腹於緑

実名なる文字
さく書に認むべ
き事なり
文中に是文
将文叔又結を
ながらの文字二処
示あるもいと
見苦し歳夜も
よみ試こそ外
の言葉に改
むべし上中下
の差別を知

石打証矢筋切蒔婁黒毘
矢鵜鴉羽鵜本面等風籠
鷲羽鴈股鷲羽洛矢各和
奥腰当面本重蒼塗籠
糸裏加結巻汽土刀を

草の出分ホハ初心の人ハ心得ゲニハ下ニ
詩ハ御と候の字ハ文章ハ今ハ必用の字と
なれる事なれバ程文ハ沿ビ
主ハ上筆ハ
ハ同筆ハ
ハ上筆貴公

去座漢鳥頭皆彫物次第湯
妻金花左右巻白柄長刀
同手拝馬連銭葦毛柑
子栗毛鴈毛鵝毛黒鵜毛
糟毛海東毛青鵜鼓同月

半家なども同
おく敬ひの詞
なれども今ハ俗
通ハ同筆ハ
用ゆる事と云れ
皇先祖ハ自分
ハ本家ハ下筆
ハ又ハ下
筆ハ本人ハ
元元方など
と出て拝を用ゼ
女人ハ男ハ書ハ

額葦毛鼓雪漢皆和副
金人同口金霞倫嫖鼓白
橋黒漆浪鼓料鼓橋金地
浣白鹿鼎大形鞦細筋手
綱腹帯鼓鹿革鼓度虎

出状を遣らば
とりくども止事を
訪ざるまへ附宜
よりて遣ずあり
但し高貴の方
への披露未まへ
常のことく男子
の文云をかな文
ことに出なり男
文に出げるなり
言葉のなりほし
たに記す

皮。摩子切付。水駒。禁皮泥濘。
鞭。毛縄。木。為古賤。草。進之。云
猴。八朱。鞍。稽。数。紙。訂。器。廻
宿料。取皮。変革。油。単。木。雑
具。仁之。而及。奏。毛。無文。雪。社

来きたりし
存じ上る疑がり
いうれしき
ましく
たれ〻ひ人だ
中上さ行くれ
日前さ行日間ゆ
ひきの行洋食
りもしくなふも
いぶんなり
なりくしも
此外多しとりく

存知。紙。白。比。鞍。分。捕。去。
武士名。誉。疾。語。後。語。之。陣
旅之。軍。政。之。捨。一。命。遣。粉
骨。之。戒。詮。判。状。一。社。後。亂
亀。鏡。之。猶。仁。而。及。一。弱。進

どもも是を畧せ
又文中ゆかし
なつかしなどの
なまく愛詞出
べからず我名をも
かな交りに出
べし月日は本人
へは異名を用
ゆべからず同業
以下者ハ異名
方へハ出とも若
しからず但し

孫者具足之而。悦甚而忘
劇。大略武功也。諸事故
以両宅之所。品々諸事之
有年百 兵部丞丹治
澤之勘解由之敬以返事

祝儀事又ハ
不幸の苦など
の意ある時ハ
たとへ下業人お
くるとも出べう
らず家名ハ月
日より一字上て
書を上業人の
礼とす中業ハ
月日と同じ字
ばかり出下業人ハ
又更ようすると

已思中入令。不事之外社雅
加侍業之而。嘗以之曷。微力
之而及。偏今奉乞東西。諸
寸脈。坐棒君快。自書之
事ニ。詣ハ之。可幾

初るべし
御の字又法度
の字を人の
事に用ひて我
ことにハ出べからず
先事見聞の
状ハ又毛里以上
滴りたるを用る
なり三四里の
処ハ自分切て
見ふべし書
初に一筆書と

中也。折来安月須勝負程
營下。内風流一入今拘兆一。
紅蓋重。揚書薄紅梅。色
筋小袖。隔子織拘。単衣。清
紅袴。美精好。裳。唐綾。狂文

とあるハ出典
かならず只怪
謹言又ハ只て
坂ことにすべし
手段ハ不便不
宣不具誓なる
どさあべなれど
只いつもこうと
想ある方よし
口に口上口演
舌代口章など
出て用事成

唐絹。折長地。紫羅。狗。綿。
浮文綾。摺繪。出。同結。巻深。
村紺。撥。洲黄小袖。同絹。帯。
前結。平。箱。襪。袴。冠。表。衣。水
卑。雲。衣。精。衣。鳥帽子。雲。出。

大口。大帷子。大刀。長刀。腰刀。
箙。胡籙。大紙幣。房鞦。牛胸
柔。陰飛上。和注文書。
之。拾。一。第。小也。只之。漢之
七月以日 右濃厨大中治

為の字用拾す
べし。半人なるべし
云為拾云為成
などは云ぜたとえ
我親我を人さ
りとも平人なれ
書まりきん
自分の事上業
へは最度なれども
只私と云べし拾
子小拾此子小
子などは同業

進上 宮内少輔殿
白紙拂底之書。不用反故
也。更飛狸織之儀拾第入
用拾事。任同録。処第之
也。用場后之。思一。拾第之。

我ホ此方をもの方などハ下業へ
いふ詞ん
不幸ニ外兆
者の事ホ事ハ
其の安居を出
ぜ初めより其
事我出なり又
張讀我出べからず
ば幸方などに
て止事ゆざるを
あらば別紙を讀

紙單衣文要用分ニ差
合ひし易練逸兼袍白張
裏衣二重ハ注文ニ外ニ用使
者ニ第一入ニ長絹壽絹袈
裟精好薄墨衣法眼

むべし袈裟不
幸その外廣立
用向ホの出状
をば深紙或ひハ
天紅などの紙ハ
用ゆべからず神
仏國郡村里人
の名などハ書
しく出べし又二
訓ホ別ニ書ゆる拓
ハ訓て出べし
書札大肯終

錦七條横尾鈍ニ下袴
鐃鉢鐋杖鈴仏具如意
香爐水精半紫朱念珠帽
子垂纓要事草鞋袍屍
梅竹唐絵一對安横笛笙

四季時候之詞

二月ハ七日ニ雪ニ而ハ年ハ雪中ニ而ハ春ニ明ニ云ハ

春寒之節ニ

清雅ニ如

陽寒嚴寒ニ

得共

陽寒都白雪

ニ云

三月ハ春ニ七日ニ雪

陽寒今日難云

ニ云

陽寒未過無

ニ云

陽寒今難

過ニ如

三月ハ少ニ春ニ

春和淑ニ

雅ニ云

淑春暖ニ

ニ云

淑分掘春和

ニ云

二月中ハ

筆策和琴筆琵琶方磬

尺八大鼓鞨鼓証鼓二鼓洞

拔子攔鼓木同笙笛

周竭雲猛不自然精氣

有換失生涯不定之

一云存知也古性謹之

七月日

紀

謹上大藏丞殿

下若以後冬雪素問之

條殆如意往日芳恩頗兆

春暖和增以如
過日暖和相繼
以為
附分柄暖氣
同增之
▲四月中ハ
薄暑之節清
座ニ如
薄暑相繼ニ如
▲五月中ハ
暑氣之節之
清座ニ如

胸中當深只自然悔意也。
恐入ニ相浴湯靜謐用舍。
無為。老者古本望之。愚見
快樂一生者也。然之清門
付之。沐浴。此門ハ以私。所能

向暑之初之
清座ニ如
▲六月ニ至リ下旬暑
ニ入ざるゝハ右ニ同
ト之ニ如ベし
▲六月大開中ハ
大暑之節之
清座ニ如
甚暑之初清望
以如左
酷暑難堪以如
暑中難凌以如
火暑凌兼以如

安堵。老語兼論。械境遠机
面。歎波來訴之。如此昌疲
勞。不顧。謹際。難合。勢。
老方清夜。相一進代官也。
稚寒來練之仁。今概吾之

▲七月ニ至ルヤいまだ
去用中なるゝハ右
のごとく認むべし
▲七月去用明ハ
殘暑甚愛
秋星雖復以処
▲八月の初めハ
漸秋冷お程
以ゆゑ
朝夕秋冷を程
以ゆゑ
▲八月の末ハ
秋冷ニ至ル以処

程ふ加詞者。職度出
来ル。被書與草案ニ代ル
詞等ニ所ニ。也恒ニ別ニ付
問注所ニ。裁助判ニ雖失
見後宣ニ。評定所ニ以

秋冷ニ物ニ所
惟得也
▲九月中ハ
冷氣お増以処
秋冷お募以処
▲十月中ハ
寒冷ニ至ル所
以ゆゑ
▲十月ニ成ていまだ
ふゆゑざるうち
向寒之節
寒氣ニ物
寒冷お増以ゆゑ

个。一ツ沿ニ法ヲ。法ニ法ヲ。
不勢。雖式雅勢ニ流例。
个。初。成敗。傍例。網法。律令。
武家お遠存知仕度ニ。隨
晩景。雲雷。撰作ニ功。不

▲十一月 [illegible]
▲十二月 [illegible]
大寒之節
甚寒之初
嚴寒之初
▲十二月 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
▲四季 [illegible]
不順之季 [illegible]
寒暖不揃
附候不順 [illegible]

一指[illegible]古日[illegible]法例[illegible]
付加一[illegible]於不審之事[illegible]
一[illegible]右[illegible]雖[illegible]
雖[illegible]
[illegible]
[illegible]

以得[illegible]
[illegible]遠國人[illegible]
[illegible]
[illegible]
大[illegible]附候の
[illegible]
[illegible]
年[illegible]の季[illegible]
[illegible]
[illegible]
用[illegible]
四季附候[illegible]

[illegible]
七月[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

文章必用高下九段之事

端書

一筆奉啓上候 上ノ上
一筆啓上仕候 上ノ中
一筆啓上仕候 上ノ下
一筆啓上仕候 中ノ上
一筆啓上仕候 中
一筆啓上仕候 中ノ下
以手紙令啓候 下ノ上
以勇紙申入候 下ノ中
以出申申入候 下ノ下

条孫重々日来申空。器満足候説。庶幾仰平如々。哉。四海平。一天静謐。人々讓。英。所々幸福之。海。清平。嚴密。而仕。桃。如之。

安否

益御機嫌。祖彼為遊御座。恐悦至極 上ノ上
益御機嫌克。其極御座恐悦之至 上ノ中
益御安泰。其遊御座。恐受之至
倍御勇健。其極御座。本忠

文。兆。縞。澤。鎌。倉。改。道。訴。訟。着。有。悠々。後。怠々。後。去。清。在。治。勢。之。一。此。開。意。活。治。之。斗。略。先。此。進。奉。状。代。去。公。而。之。出。仕。諸。亭。經。旦。

賀候　中ノ上
愈清安康ニ
成清座ニ奉賀候　中
深清梁勝ニ成
清座ニ珍重ニ成
奉賀候　中ノ下
深清梁恐ニ成
清座ニ同前度
清成賀　下ノ上
深清安全ニ成
清入珍重賀候　下ノ中
深清無事珍重

一市ニ図師ヲ之。奉ニ為人贈給。元
中ノ席ニ詫上元秘斗。以入。即
人間奏具。資同機嫌ヲ申ス
之。儀状謀実。越境之相論。
来分甲乙。弟ヲ謹代相傳

清事ニ候　下ノ下
返事ニ端書
御書奉見候　上ノ上
尊書深見候　上ノ中
号韓深見候　上ノ下
貴札辱深見候　中ノ上
貴書ニ成ニ拝見候　中ノ中
其札被ニ拝見候　中ノ下
清札被ニ拝見候　下ノ上
清状被ニ拝見候　下ノ中
清紙面ニ拝見候　下ノ下
結句

重事ニ於ニ付方ニ々ニ
逢清清。即人上元。圖問。
右為奉行人。余為給日。評
宣。隠為窮屋。更無休
息。社勘判。牝問注。而賊

右奉申上度 上ノ上
右奉申上度 上ノ中
右ゝ申上度 上ノ下
右ゝ得申上度 中ノ上
右ゝ得申上度 中ノ中
右ゝ得申上度 中ノ下
右ゝ申上度 下ノ上
右ゝ申上度 下ノ中
右ゝ申上度 下ノ下
書留
誠恐誠惶謹言 上ノ上
恐惶謹言 上ノ中

圖閣僧 秘書書与内状奉
賦之
書於訴人之所及夜度世
書之給候最第石尊
就遠所数状之恐第如
今訴人之石進所之封中

恐惶謹言 上ノ下
恐惶謹言 中ノ上
恐惶無言 中ノ中
恐惶無言 中ノ下
恐ゝ無言 下ノ上
恐ゝ無言 下ノ中
恐ゝ無言 下ノ下
様敬
様 上々 様 上ノ中
様 上ノ下 様 中ノ上
様 中 様 中ノ下
様 下ノ上 様 下ノ中

訴状書之間之善訴陣於
御前遂對決経雌雄是
非奉行人之最捨事出於
訴者窺法理之異人而今
成敗也問注而之永代沽

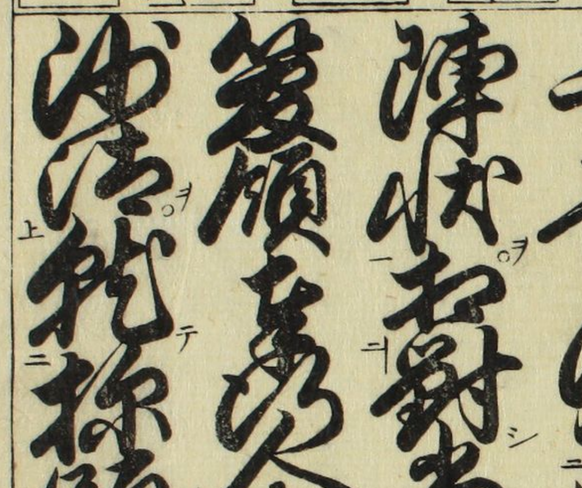
招 下ノ下
殿 上々 殿 上ノ中
殿 上ノ下 殿 中ノ上
殿 中 殿 中ノ下
殿 下ノ上 殿 下ノ中
殿 下々

封状

[illegible]の殿ニハ
[illegible]ニ書状ヲ上
る事なく[illegible]
来ヘ[illegible]てさし上
なり[illegible]を[illegible]

券。安堵年紀放券。奴婢。雑
人券。[illegible]和ニ状。[illegible]文
[illegible]実[illegible]ニ[illegible]頃[illegible]人右
筆奉[illegible]人[illegible]判[illegible]人
[illegible]ニ[illegible]方[illegible]集[illegible]仁者

状といふ[illegible]ニ[illegible]
て封状ハ只上中
[illegible]
事[illegible]



上の方
西織[illegible]
上の表
中の表
[illegible]

[illegible]ニ下[illegible]ニ[illegible]奉出
[illegible]ニ[illegible]使[illegible]文[illegible]
陣状[illegible]ニ[illegible]年[illegible]
[illegible]頃[illegible]人[illegible]
[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]
[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]

井上豊前の村之八	

討ト同ニ云ヒ
やまひやうの下略
と初ムベシ　文先
の笹字ヲ一字
書ハ敬ひアリメ
ハ下筆ハ小ク
云下筆ハ大
キク云ン討ト方

山潤

ム一例ニハウヤ
まひアリ下略
ハ廣ク例ニアリ
ハ一帰状ニ
潤ハ打ヒ
ム一例ニアル
法アリ

人	木
土	木
七	木

篇冠捶字亜

初メ侍所ニ参ル事ハ謀叛殺害ト沙汰ニ
及ハヽ雑人ニ至マテ悉ク召捕ヒ
拷問ヲ加フヘシ　縦ヒ重科ノ
者タリトモ　実否ヲ糺明セラレ
ンカ為ニ　暫ク拷問ヲ緩ムル
事アリ　又ハ　一旦ノ白状ニ
依テ　直ニ断罪ニ行ハルヽ
事アリ　又ハ　数日ヲ経テ
後ニ　白状ヲ翻ス
事アリ　又ハ　白状
ニ及ハス
検断ス

右事ニ付テ　或ハ
証拠ヲ以テ　或ハ
白状ヲ以テ　或ハ
犯人ヲ捕ヘ　或ハ
犯ニ当テ　或ハ
推問拷訊ヲ加フル
事アリ

牛	虫	龜	日	日	女	草	衣	身	王
牛	虫	食	日	月	女	草	衣	足	王
中	黄	色	口	手	華	子	示	正	出

究竟同業類也。所罪之。此
誅之。戒之。禁獄之。流刑
者。此流悔。此外火令。追放。
以下路古業。惟重。其人之色。
不可以。以等社。訴訟之。就本

出	金	身	斗	目	舌	里	山	馬	牙
貝	手	車	石	日	牙	里	弓	子	耳
白	角	車	石	舌	牙	山	弓	舟	牙

不舉達。此色。非之。賊訴復
勘之。依掠。影。答。頗有奪。此
挑所之。奏事於庭中。家務
恩賞。方法。規式。不可勝計之。
吾有賴。具難盡。紙上。活

田	田	東	申	身	穿	十	言	言	己
田	田	東	身	身	穿	中	言	亘	毛
矛	矛	牛	牛	牛	牛	言	言	亘	毛
己	己	己	己	己	己	方	方	方	行
方	行	行	行	行	行	行	行	行	行

上洛府。心之不及粗可
令申作也。忍々謹言
八月七日　教位長谷部
謹上　大掾殿
去頃鎮札之而。他行之

至	至	子	片	米	广	戸	走	辶	辶
至	至	子	米	米	广	戸	走	辶	辶
辶	辶	辶	辶	辶	辶	辶	辶	辶	辶
辶	辶	辶	辶	辶	辶	辶	辶	辶	辶
四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
仔	仔	仔	仔	仔	仔	仔	仔	仔	仔
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
爪	爪	爪	爪	爪	爪	爪	爪	爪	爪

間則申出數之條。失本
意。本拍將軍家。若宮法
系。指事。佐奉之日記。社備
用或方作。後日態一進之。
体殆。令超之。関東鶴岡八

日	一	日	气	日	門	手	弓	日	夕
頭	丁	石	住	四	斤	扌	彐	月	大
目	弋	口	住	罒	亡	斗	尸	木	女
鼻	戈	曰	住	网	門	斤	心	欠	子
口	弓	門	住	罒	阜	方	戸	止	宀
耳	彐	阜	住	罒	隹	无	手	歹	寸
手	彡	隹	住	罒	雨	日	支	殳	小
足	彳	雨	住	罒	青	曰	支	毋	尢
身	心	青	住	罒	非	月	支	比	尸
車	戸	非	住	罒	面	木	支	毛	屮
辛	手	面	住	罒	革	欠	支	氏	山
辰	支	革	住	罒	韋	止	支	气	川
辵	攵	韋	住	罒	韭	歹	支	水	工
邑	斗	韭	住	罒	音	殳	支	火	己
酉	斤	音	住	罒	頁	毋	支	爪	巾
釆	方	頁	住	罒	風	比	支	父	干
里	无	風	住	罒	飛	毛	支	爻	幺
金	日	飛	住	罒	食	氏	支	爿	广
長	曰	食	住	罒	首	气	支	片	廴
門	月	首	住	罒	香	水	支	牙	廾
阜	木	香	住	罒	馬	火	支	牛	弋
隶	欠	馬	住	罒	骨	爪	支	犬	弓
隹	止	骨	住	罒	高	父	支	玄	彐
雨	歹	高	住	罒	髟	爻	支	玉	彡
青	殳	髟	住	罒	鬥	爿	支	瓜	彳
非	毋	鬥	住	罒	鬯	片	支	瓦	心
面	比	鬯	住	罒	鬲	牙	支	甘	戸
革	毛	鬲	住	罒	鬼	牛	支	生	手
韋	氏	鬼	住	罒	魚	犬	支	用	支
韭	气	魚	住	罒	鳥	玄	支	田	攵
音	水	鳥	住	罒	鹵	玉	支	疋	斗
頁	火	鹵	住	罒	鹿	瓜	支	疒	斤
風	爪	鹿	住	罒	麥	瓦	支	癶	方
飛	父	麥	住	罒	麻	甘	支	白	无
食	爻	麻	住	罒	黄	生	支	皮	日
首	爿	黄	住	罒	黍	用	支	皿	曰
香	片	黍	住	罒	黒	田	支	目	月
馬	牙	黒	住	罒	黹	疋	支	矛	木
骨	牛	黹	住	罒	龍	疒	支	矢	欠
高	犬	龍	住	罒	龜	癶	支	石	止
髟	玄	龜	住	罒	龠	白	支	示	歹
鬥	玉	龠	住	罒	冂	皮	支	禸	殳
鬯	瓜	冂	住	罒	冖	皿	支	禾	毋
鬲	瓦	冖	住	罒	冫	目	支	穴	比
鬼	甘	冫	住	罒	几	矛	支	立	毛
魚	生	几	住	罒	凵	矢	支	竹	氏
鳥	用	凵	住	罒	刀	石	支	米	气
鹵	田	刀	住	罒	力	示	支	糸	水
鹿	疋	力	住	罒	勹	禸	支	缶	火
麥	疒	勹	住	罒	匕	禾	支	网	爪
麻	癶	匕	住	罒	匚	穴	支	羊	父
黄	白	匚	住	罒	十	立	支	羽	爻
黍	皮	十	住	罒	卜	竹	支	老	爿
黒	皿	卜	住	罒	卩	米	支	而	片
黹	目	卩	住	罒	厂	糸	支	耒	牙
龍	矛	厂	住	罒	厶	缶	支	耳	牛
龜	矢	厶	住	罒	又	网	支	聿	犬
龠	石	又	住	罒	三	羊	支	肉	玄
冂	示	三	住	罒	干	羽	支	臣	玉
冖	禸	干	住	罒	工	老	支	自	瓜
冫	禾	工	住	罒	土	而	支	至	瓦
几	穴	土	住	罒	士	耒	支	臼	甘
凵	立	士	住	罒	艸	耳	支	舌	生
刀	竹	艸	住	罒	艹	聿	支	舛	用
力	米	艹	住	罒	寸	肉	支	舟	田
勹	糸	寸	住	罒	小	臣	支	艮	疋
匕	缶	小	住	罒	尢	自	支	色	疒
匚	网	尢	住	罒	尸	至	支	艸	癶
十	羊	尸	住	罒	屮	臼	支	虍	白
卜	羽	屮	住	罒	山	舌	支	虫	皮
卩	老	山	住	罒	川	舛	支	血	皿
厂	而	川	住	罒	工	舟	支	行	目
厶	耒	工	住	罒	己	艮	支	衣	矛
又	耳	己	住	罒	巾	色	支	西	矢
三	聿	巾	住	罒	干	艸	支	襾	石
干	肉	干	住	罒	幺	虍	支	見	示
工	臣	幺	住	罒	广	虫	支	角	禸
土	自	广	住	罒	廴	血	支	言	禾
士	至	廴	住	罒	廾	行	支	谷	穴
艸	臼	廾	住	罒	弋	衣	支	豆	立
艹	舌	弋	住	罒	弓	西	支	豕	竹
寸	舛	弓	住	罒	彐	襾	支	豸	米
小	舟	彐	住	罒	彡	見	支	貝	糸
尢	艮	彡	住	罒	彳	角	支	赤	缶
尸	色	彳	住	罒	心	言	支	走	网
屮	艸	心	住	罒	戸	谷	支	足	羊
山	虍	戸	住	罒	手	豆	支	身	羽
川	虫	手	住	罒	支	豕	支	車	老
工	血	支	住	罒	攵	豸	支	辛	而
己	行	攵	住	罒	斗	貝	支	辰	耒
巾	衣	斗	住	罒	斤	赤	支	辵	耳
干	西	斤	住	罒	方	走	支	邑	聿
幺	襾	方	住	罒	无	足	支	酉	肉
广	見	无	住	罒	日	身	支	釆	臣
廴	角	日	住	罒	曰	車	支	里	自
廾	言	曰	住	罒	月	辛	支	金	至
弋	谷	月	住	罒	木	辰	支	長	臼
弓	豆	木	住	罒	欠	辵	支	門	舌
彐	豕	欠	住	罒	止	邑	支	阜	舛
彡	豸	止	住	罒	歹	酉	支	隶	舟
彳	貝	歹	住	罒	殳	釆	支	隹	艮
心	赤	殳	住	罒	毋	里	支	雨	色
戸	走	毋	住	罒	比	金	支	青	艸
手	足	比	住	罒	毛	長	支	非	虍
支	身	毛	住	罒	氏	門	支	面	虫
攵	車	氏	住	罒	气	阜	支	革	血
斗	辛	气	住	罒	水	隶	支	韋	行
斤	辰	水	住	罒	火	隹	支	韭	衣
方	辵	火	住	罒	爪	雨	支	音	西
无	邑	爪	住	罒	父	青	支	頁	襾
日	酉	父	住	罒	爻	非	支	風	見
曰	釆	爻	住	罒	爿	面	支	飛	角
月	里	爿	住	罒	片	革	支	食	言
木	金	片	住	罒	牙	韋	支	首	谷
欠	長	牙	住	罒	牛	韭	支	香	豆
止	門	牛	住	罒	犬	音	支	馬	豕
歹	阜	犬	住	罒	玄	頁	支	骨	豸
殳	隶	玄	住	罒	玉	風	支	高	貝
毋	隹	玉	住	罒	瓜	飛	支	髟	赤
比	雨	瓜	住	罒	瓦	食	支	鬥	走
毛	青	瓦	住	罒	甘	首	支	鬯	足
氏	非	甘	住	罒	生	香	支	鬲	身
气	面	生	住	罒	用	馬	支	鬼	車
水	革	用	住	罒	田	骨	支	魚	辛
火	韋	田	住	罒	疋	高	支	鳥	辰
爪	韭	疋	住	罒	疒	髟	支	鹵	辵
父	音	疒	住	罒	癶	鬥	支	鹿	邑
爻	頁	癶	住	罒	白	鬯	支	麥	酉
爿	風	白	住	罒	皮	鬲	支	麻	釆
片	飛	皮	住	罒	皿	鬼	支	黄	里
牙	食	皿	住	罒	目	魚	支	黍	金
牛	首	目	住	罒	矛	鳥	支	黒	長
犬	香	矛	住	罒	矢	鹵	支	黹	門
玄	馬	矢	住	罒	石	鹿	支	龍	阜
玉	骨	石	住	罒	示	麥	支	龜	隶
瓜	高	示	住	罒	禸	麻	支	龠	隹
瓦	髟	禸	住	罒	禾	黄	支	冂	雨
甘	鬥	禾	住	罒	穴	黍	支	冖	青
生	鬯	穴	住	罒	立	黒	支	冫	非
用	鬲	立	住	罒	竹	黹	支	几	面
田	鬼	竹	住	罒	米	龍	支	凵	革
疋	魚	米	住	罒	糸	龜	支	刀	韋
疒	鳥	糸	住	罒	缶	龠	支	力	韭
癶	鹵	缶	住	罒	网	冂	支	勹	音
白	鹿	网	住	罒	羊	冖	支	匕	頁
皮	麥	羊	住	罒	羽	冫	支	匚	風
皿	麻	羽	住	罒	老	几	支	十	飛
目	黄	老	住	罒	而	凵	支	卜	食
矛	黍	而	住	罒	耒	刀	支	卩	首
矢	黒	耒	住	罒	耳	力	支	厂	香
石	黹	耳	住	罒	聿	勹	支	厶	馬
示	龍	聿	住	罒	肉	匕	支	又	骨
禸	龜	肉	住	罒	臣	匚	支	三	高
禾	龠	臣	住	罒	自	十	支	干	髟
穴	冂	自	住	罒	至	卜	支	工	鬥
立	冖	至	住	罒	臼	卩	支	土	鬯
竹	冫	臼	住	罒	舌	厂	支	士	鬲
米	几	舌	住	罒	舛	厶	支	艸	鬼
糸	凵	舛	住	罒	舟	又	支	艹	魚
缶	刀	舟	住	罒	艮	三	支	寸	鳥
网	力	艮	住	罒	色	干	支	小	鹵
羊	勹	色	住	罒	艸	工	支	尢	鹿
羽	匕	艸	住	罒	虍	土	支	尸	麥
老	匚	虍	住	罒	虫	士	支	屮	麻
而	十	虫	住	罒	血	艸	支	山	黄
耒	卜	血	住	罒	行	艹	支	川	黍
耳	卩	行	住	罒	衣	寸	支	工	黒
聿	厂	衣	住	罒	西	小	支	己	黹
肉	厶	西	住	罒	襾	尢	支	巾	龍
臣	又	襾	住	罒	見	尸	支	干	龜
自	三	見	住	罒	角	屮	支	幺	龠
至	干	角	住	罒	言	山	支	广	冂
臼	工	言	住	罒	谷	川	支	廴	冖
舌	土	谷	住	罒	豆	工	支	廾	冫
舛	士	豆	住	罒	豕	己	支	弋	几
舟	艸	豕	住	罒	豸	巾	支	弓	凵
艮	艹	豸	住	罒	貝	干	支	彐	刀
色	寸	貝	住	罒	赤	幺	支	彡	力
艸	小	赤	住	罒	走	广	支	彳	勹
虍	尢	走	住	罒	足	廴	支	心	匕
虫	尸	足	住	罒	身	廾	支	戸	匚
血	屮	身	住	罒	車	弋	支	手	十
行	山	車	住	罒	辛	弓	支	支	卜
衣	川	辛	住	罒	辰	彐	支	攵	卩
西	工	辰	住	罒	辵	彡	支	斗	厂
襾	己	辵	住	罒	邑	彳	支	斤	厶
見	巾	邑	住	罒	酉	心	支	方	又
角	干	酉	住	罒	釆	戸	支	无	三
言	幺	釆	住	罒	里	手	支	日	干
谷	广	里	住	罒	金	支	支	曰	工
豆	廴	金	住	罒	長	攵	支	月	土
豕	廾	長	住	罒	門	斗	支	木	士
豸	弋	門	住	罒	阜	斤	支	欠	艸
貝	弓	阜	住	罒	隶	方	支	止	艹
赤	彐	隶	住	罒	隹	无	支	歹	寸
走	彡	隹	住	罒	雨	日	支	殳	小
足	彳	雨	住	罒	青	曰	支	毋	尢
身	心	青	住	罒	非	月	支	比	尸
車	戸	非	住	罒	面	木	支	毛	屮
辛	手	面	住	罒	革	欠	支	氏	山
辰	支	革	住	罒	韋	止	支	气	川
辵	攵	韋	住	罒	韭	歹	支	水	工
邑	斗	韭	住	罒	音	殳	支	火	己
酉	斤	音	住	罒	頁	毋	支	爪	巾
釆	方	頁	住	罒	風	比	支	父	干
里	无	風	住	罒	飛	毛	支	爻	幺
金	日	飛	住	罒	食	氏	支	爿	广
長	曰	食	住	罒	首	气	支	片	廴
門	月	首	住	罒	香	水	支	牙	廾
阜	木	香	住	罒	馬	火	支	牛	弋
隶	欠	馬	住	罒	骨	爪	支	犬	弓
隹	止	骨	住	罒	高	父	支	玄	彐
雨	歹	高	住	罒	髟	爻	支	玉	彡
青	殳	髟	住	罒	鬥	爿	支	瓜	彳
非	毋	鬥	住	罒	鬯	片	支	瓦	心
面	比	鬯	住	罒	鬲	牙	支	甘	戸
革	毛	鬲	住	罒	鬼	牛	支	生	手
韋	氏	鬼	住	罒	魚	犬	支	用	支
韭	气	魚	住	罒	鳥	玄	支	田	攵
音	水	鳥	住	罒	鹵	玉	支	疋	斗
頁	火	鹵	住	罒	鹿	瓜	支	疒	斤
風	爪	鹿	住	罒	麥	瓦	支	癶	方
飛	父	麥	住	罒	麻	甘	支	白	无
食	爻	麻	住	罒	黄	生	支	皮	日
首	爿	黄	住	罒	黍	用	支	皿	曰
香	片	黍	住	罒	黒	田	支	目	月
馬	牙	黒	住	罒	黹	疋	支	矛	木
骨	牛	黹	住	罒	龍	疒	支	矢	欠
高	犬	龍	住	罒	龜	癶	支	石	止
髟	玄	龜	住	罒	龠	白	支	示	歹
鬥	玉	龠	住	罒	冂	皮	支	禸	殳
鬯	瓜	冂	住	罒	冖	皿	支	禾	毋
鬲	瓦	冖	住	罒	冫	目	支	穴	比
鬼	甘	冫	住	罒	几	矛	支	立	毛
魚	生	几	住	罒	凵	矢	支	竹	氏
鳥	用	凵	住	罒	刀	石	支	米	气
鹵	田	刀	住	罒	力	示	支	糸	水
鹿	疋	力	住	罒	勹	禸	支	缶	火
麥	疒	勹	住	罒	匕	禾	支	网	爪
麻	癶	匕	住	罒	匚	穴	支	羊	父
黄	白	匚	住	罒	十	立	支	羽	爻
黍	皮	十	住	罒	卜	竹	支	老	爿
黒	皿	卜	住	罒	卩	米	支	而	片
黹	目	卩	住	罒	厂	糸	支	耒	牙
龍	矛	厂	住	罒	厶	缶	支	耳	牛
龜	矢	厶	住	罒	又	网	支	聿	犬
龠	石	又	住	罒	三	羊	支	肉	玄
冂	示	三	住	罒	干	羽	支	臣	玉
冖	禸	干	住	罒	工	老	支	自	瓜
冫	禾	工	住	罒	土	而	支	至	瓦
几	穴	土	住	罒	士	耒	支	臼	甘
凵	立	士	住	罒	艸	耳	支	舌	生
刀	竹	艸	住	罒	艹	聿	支	舛	用
力	米	艹	住	罒	寸	肉	支	舟	田
勹	糸	寸	住	罒	小	臣	支	艮	疋
匕	缶	小	住	罒	尢	自	支	色	疒
匚	网	尢	住	罒	尸	至	支	艸	癶
十	羊	尸	住	罒	屮	臼	支	虍	白
卜	羽	屮	住	罒	山	舌	支	虫	皮
卩	老	山	住	罒	川	舛	支	血	皿
厂	而	川	住	罒	工	舟	支	行	目
厶	耒	工	住	罒	己	艮	支	衣	矛
又	耳	己	住	罒	巾	色	支	西	矢
三	聿	巾	住	罒	干	艸	支	襾	石
干	肉	干	住	罒	幺	虍	支	見	示
工	臣	幺	住	罒	广	虫	支	角	禸
土	自	广	住	罒	廴	血	支	言	禾
士	至	廴	住	罒	廾	行	支	谷	穴
艸	臼	廾	住	罒	弋	衣	支	豆	立
艹	舌	弋	住	罒	弓	西	支	豕	竹
寸	舛	弓	住	罒	彐	襾	支	豸	米
小	舟	彐	住	罒	彡	見	支	貝	糸
尢	艮	彡	住	罒	彳	角	支	赤	缶
尸	色	彳	住	罒	心	言	支	走	网
屮	艸	心	住	罒	戸	谷	支	足	羊
山	虍	戸	住	罒	手	豆	支	身	羽
川	虫	手	住	罒	支	豕	支	車	老
工	血	支	住	罒	攵	豸	支	辛	而
己	行	攵	住	罒	斗	貝	支	辰	耒
巾	衣	斗	住	罒	斤	赤	支	辵	耳
干	西	斤	住	罒	方	走	支	邑	聿
幺	襾	方	住	罒	无	足	支	酉	肉
广	見	无	住	罒	日	身	支	釆	臣
廴	角	日	住	罒	曰	車	支	里	自
廾	言	曰	住	罒	月	辛	支	金	至
弋	谷	月	住	罒	木	辰	支	長	臼
弓	豆	木	住	罒	欠	辵	支	門	舌
彐	豕	欠	住	罒	止	邑	支	阜	舛
彡	豸	止	住	罒	歹	酉	支	隶	舟
彳	貝	歹	住	罒	殳	釆	支	隹	艮
心	赤	殳	住	罒	毋	里	支	雨	色
戸	走	毋	住	罒	比	金	支	青	艸
手	足	比	住	罒	毛	長	支	非	虍
支	身	毛	住	罒	氏	門	支	面	虫
攵	車	氏	住	罒	气	阜	支	革	血
斗	辛	气	住	罒	水	隶	支	韋	行
斤	辰	水	住	罒	火	隹	支	韭	衣
方	辵	火	住	罒	爪	雨	支	音	西
无	邑	爪	住	罒	父	青	支	頁	襾
日	酉	父	住	罒	爻	非	支	風	見
曰	釆	爻	住	罒	爿	面	支	飛	角
月	里	爿	住	罒	片	革	支	食	言
木	金	片	住	罒	牙	韋	支	首	谷
欠	長	牙	住	罒	牛	韭	支	香	豆
止	門	牛	住	罒	犬	音	支	馬	豕
歹	阜	犬	住	罒	玄	頁	支	骨	豸
殳	隶	玄	住	罒	玉	風	支	高	貝
毋	隹	玉	住	罒	瓜	飛	支	髟	赤
比	雨	瓜	住	罒	瓦	食	支	鬥	走
毛	青	瓦	住	罒	甘	首	支	鬯	足
氏	非	甘	住	罒	生	香	支	鬲	身
气	面	生	住	罒	用	馬	支	鬼	車
水	革	用	住	罒	田	骨	支	魚	辛
火	韋	田	住	罒	疋	高	支	鳥	辰
爪	韭	疋	住	罒	疒	髟	支	鹵	辵
父	音	疒	住	罒	癶	鬥	支	鹿	邑
爻	頁	癶	住	罒	白	鬯	支	麥	酉
爿	風	白	住	罒	皮	鬲	支	麻	釆
片	飛	皮	住	罒	皿	鬼	支	黄	里
牙	食	皿	住	罒	目	魚	支	黍	金
牛	首	目	住	罒	矛	鳥	支	黒	長
犬	香	矛	住	罒	矢	鹵	支	黹	門
玄	馬	矢	住	罒	石	鹿	支	龍	阜
玉	骨	石	住	罒	示	麥	支	龜	隶
瓜	高	示	住	罒	禸	麻	支	龠	隹
瓦	髟	禸	住	罒	禾	黄	支	冂	雨
甘	鬥	禾	住	罒	穴	黍	支	冖	青
生	鬯	穴	住	罒	立	黒	支	冫	非
用	鬲	立	住	罒	竹	黹	支	几	面
田	鬼	竹	住	罒	米	龍	支	凵	革
疋	魚	米	住	罒	糸	龜	支	刀	韋
疒	鳥	糸	住	罒	缶	龠	支	力	韭
癶	鹵	缶	住	罒	网	冂	支	勹	音
白	鹿	网	住	罒	羊	冖	支

家名畫

糸屋 池田
伊丹 升筒
鑄物 印板
筏屋 板屋
蠟燭 茶屋
簾籠 汁屋
秤屋 板洞
箱屋 板木
箔屋 刷毛
張物 箒屋
幢屋 濱田

之勇士。五十甲冑。思々澄
忠。素馬。鞍。弓。服。若。重代
之重宝。用。釣調。美麗。自
門外。若。後路。無畫。上下。左
右。刀。第列。二行。御帯刀役人。

檜木 馬借
袴屋 箸屋
汁屋 人形
茶圓屋 布袋
反古 本屋
龜甲 紅屋
豆腐 富田
色羽 碑石
常盤 道具
清斗 千切
千竹 陣笠
繡屋 絵物

出調度。役人相並。乃至馬。至
扈從。出迎。給人。調樂妓。
艶。雜。後。夜。分陣。御帯。
安人。打鞍鐵。侍。前行。之。鐘。
於座。之。稱宜。神主。捧幣帛。

塗師屋　布屋
小檜屋　小倉屋
檜屋　大坂屋
筆屋　白粉屋
桜屋　綿屋
輪違屋　刻木屋
和久屋　扇屋
屠金屋　撈屋
加嶋屋　乾物屋
泥治屋　ち慕屋
建屋　籤屋
弩師屋　番匠

於家則曰社稷之解作級
於室毫無一定之處
於庭遠庵神樂則
於會調物事又演劇之
於齋祭神樂
於路頭祭禮
於市店祭禮
於海濱祭禮
於山祭禮
於田祭禮
於社祭禮
於祠祭禮
於墓祭禮
於水祭禮
於火祭禮
於風祭禮
於雨祭禮
於雪祭禮
於雷祭禮
於電祭禮
於地震祭禮
於山崩祭禮
於海嘯祭禮
於洪水祭禮
於大火祭禮
於大風祭禮
於大雨祭禮
於大雪祭禮
於大雷祭禮
於大電祭禮
於大地震祭禮
於大山崩祭禮
於大海嘯祭禮
於大洪水祭禮
於大旱祭禮
於大疫祭禮
於大病祭禮
於大災祭禮
於大厄祭禮
於大難祭禮
於大變祭禮
於大怪祭禮
於大異祭禮
於大瑞祭禮
於大祥祭禮
於大吉祭禮
於大凶祭禮
於大福祭禮
於大禍祭禮
於大幸祭禮
於大不幸祭禮
於大喜祭禮
於大悲祭禮
於大樂祭禮
於大苦祭禮
於大善祭禮
於大惡祭禮
於大美祭禮
於大醜祭禮
於大貴祭禮
於大賤祭禮
於大富祭禮
於大貧祭禮
於大強祭禮
於大弱祭禮
於大勇祭禮
於大怯祭禮
於大智祭禮
於大愚祭禮
於大賢祭禮
於大不肖祭禮
於大聖祭禮
於大凡祭禮
於大人祭禮
於大小祭禮
於大男祭禮
於大女祭禮
於大老祭禮
於大幼祭禮
於大兒祭禮
於大嬰祭禮
於大胎祭禮
於大卵祭禮
於大精祭禮
於大血祭禮
於大肉祭禮
於大骨祭禮
於大皮祭禮
於大毛祭禮
於大爪祭禮
於大牙祭禮
於大舌祭禮
於大口祭禮
於大鼻祭禮
於大耳祭禮
於大目祭禮
於大額祭禮
於大頭祭禮
於大髮祭禮
於大首祭禮
於大面祭禮
於大眉祭禮
於大睫祭禮
於大眼祭禮
於大瞳祭禮
於大鼻祭禮
於大耳祭禮
於大口祭禮
於大舌祭禮
於大牙祭禮
於大爪祭禮
於大毛祭禮
於大皮祭禮
於大骨祭禮
於大肉祭禮
於大血祭禮
於大精祭禮
於大卵祭禮
於大胎祭禮
於大嬰祭禮
於大兒祭禮
於大小祭禮
於大人祭禮
於大凡祭禮
於大聖祭禮
於大不肖祭禮
於大賢祭禮
於大愚祭禮
於大智祭禮
於大怯祭禮
於大勇祭禮
於大弱祭禮
於大強祭禮
於大貧祭禮
於大富祭禮
於大賤祭禮
於大貴祭禮
於大醜祭禮
於大美祭禮
於大怪祭禮
於大異祭禮
於大瑞祭禮
於大祥祭禮
於大吉祭禮
於大凶祭禮
於大福祭禮
於大禍祭禮
於大幸祭禮
於大不幸祭禮
於大喜祭禮
於大悲祭禮
於大樂祭禮
於大苦祭禮
於大善祭禮
於大惡祭禮

傘屋　筆屋
伐屋　釜屋
金屋　吉田屋
茅屋　杓屋
燈屋　弓田屋
檜屋　大文字屋
大升屋
大九屋
大黒屋
大船屋
笊屋
敷賀屋
樞屋
壷屋

朝倉通詠物柳多朱實
禮莫於祭神感興
叢雲之龍出月之兎
同心雲雨愛君
言象二而已矣

嵐屋　練物屋　奈良屋　雛屋　浪屋　羅紗屋　松屋　油屋　延屋　石灰屋　漆屋　宮屋　團扇屋　雛形屋　雪華屋　染物屋　紅屋　打屋　奥山屋　菓子屋　山形屋　八百屋

今有二人詣二清水一。一人ハ有二大願一。一人ハ無二所願一。有願ノ人ハ祈二清水ノ観音一。無願ノ人ハ参二清水ノ観音一。二人ノ者共ニ清水ノ観音ノ霊験ヲ蒙ル。然ルニ有願ノ人ハ願ヲ成就シ。無願ノ人ハ空ク帰ル。是ハ観音ノ慈悲ニ有願無願ノ差別ナキ故ニ。二人ノ者共ニ霊験ヲ蒙ル。然ルニ有願ノ人ハ願ヲ成就シ。無願ノ人ハ空ク帰ル。是ハ観音ノ慈悲ニ有願無願ノ差別ナキ故ニ。二人ノ者共ニ霊験ヲ蒙ル。然ルニ有願ノ人ハ願ヲ成就シ。無願ノ人ハ空ク帰ル。是ハ観音ノ慈悲ニ有願無願ノ差別ナキ故ニ。二人ノ者共ニ霊験ヲ蒙ル。然ルニ有願ノ人ハ願ヲ成就シ。無願ノ人ハ空ク帰ル。是ハ観音ノ慈悲ニ有願無願ノ差別ナキ故ニ。二人ノ者共ニ霊験ヲ蒙ル。然ルニ有願ノ人ハ願ヲ成就シ。無願ノ人ハ空ク帰ル。是ハ観音ノ慈悲ニ有願無願ノ差別ナキ故ニ。二人ノ者共ニ霊験ヲ蒙ル。然ルニ有願ノ人ハ願ヲ成就シ。無願ノ人ハ空ク帰ル。是ハ観音ノ慈悲ニ有願無願ノ差別ナキ故ニ。二人ノ者共ニ霊験ヲ蒙ル。然ルニ有願ノ人ハ願ヲ成就シ。無願ノ人ハ空ク帰ル。是ハ観音ノ慈悲ニ有願無願ノ差別ナキ故ニ。

八幡　松屋　松葉屋　九屋　富士屋　紙屋　紅屋　古手物　佛具屋　鞠屋　佛師　福屋　弟分　愛屋　琴屋　小柴　小傳馬　小刀　鍛屋　小間物　永屋

今有二人詣二清水一。一人ハ有二大願一。一人ハ無二所願一。有願ノ人ハ祈二清水ノ観音一。無願ノ人ハ参二清水ノ観音一。二人ノ者共ニ清水ノ観音ノ霊験ヲ蒙ル。然ルニ有願ノ人ハ願ヲ成就シ。無願ノ人ハ空ク帰ル。是ハ観音ノ慈悲ニ有願無願ノ差別ナキ故ニ。二人ノ者共ニ霊験ヲ蒙ル。然ルニ有願ノ人ハ願ヲ成就シ。無願ノ人ハ空ク帰ル。是ハ観音ノ慈悲ニ有願無願ノ差別ナキ故ニ。二人ノ者共ニ霊験ヲ蒙ル。然ルニ有願ノ人ハ願ヲ成就シ。無願ノ人ハ空ク帰ル。是ハ観音ノ慈悲ニ有願無願ノ差別ナキ故ニ。二人ノ者共ニ霊験ヲ蒙ル。然ルニ有願ノ人ハ願ヲ成就シ。無願ノ人ハ空ク帰ル。是ハ観音ノ慈悲ニ有願無願ノ差別ナキ故ニ。二人ノ者共ニ霊験ヲ蒙ル。然ルニ有願ノ人ハ願ヲ成就シ。無願ノ人ハ空ク帰ル。是ハ観音ノ慈悲ニ有願無願ノ差別ナキ故ニ。二人ノ者共ニ霊験ヲ蒙ル。然ルニ有願ノ人ハ願ヲ成就シ。無願ノ人ハ空ク帰ル。是ハ観音ノ慈悲ニ有願無願ノ差別ナキ故ニ。

絆染　蓋田
粉屋　炙屋
蛭子　海老
江戸　鳥帽子
繪絹　絵馬
絵双紙　繪具
袗屋　授並
永楽　白嶋
豊後　天満
天王寺　丁子
淺田　沙升
油屋　扇屋

光源寺ニ一進ス力ニ駕輿ヲ下ル。
一ニ石仏養蜂ニ之精舎
一宇ニ二重塔婆。金雲。宝塔。
經藏。鐘樓。食雲。絵和。熱門
二階。湯屋。繪房。金玉。等光

編笠　東屋
秋田　茜屋
青具　青物
新屋　荒物
鼓屋　砂糖
沢屋　酒屋
笹屋　古宮
塚屋　二文字
座古　指物
作師　菊屋
木具　木津
拌屋　絹屋

紫木。白檀。座像。菩薩。各照
侍ニ天。尅ニ彫ニ。細金。彩ニ繪
像。各一幅。薄。淡。雲。蓮。一對。
寫。擬。宮。御。經。繪。讀。般若。讀
誦。經。五。勅。行。秘法。唱。滿。陀

木地　亀甲
桔梗　吉文字
令吹　烟笈
湯屋　湯婆
弓屋　湯鬘
面形　目打
目貫　味噌
沸簷　醤油
鴿屋　白木
塗屋　柴屋
悉皆　十文字
数珠　鴿田

羅尼。令誦之云。称名念仏九
句佐花一夏持安禅律。才
数以人木。拵詩子僧佐養兆人
旅以出之。組紙布施妄被物。
祿物木。周之一煙賤之。只擬法

法拍　拵波
雛屋　紉屋
羹屋　目野
甑蒙　木瓜
隙屋　織屋
澁拍　住吉
砒屋　墨屋
炭屋　靴屋
硯屋　湯屋
須糸　末廣
水嚢　淘器
簷屋　洲濱

助成一云。桃行之。陪兆法僕嘆
儀。若白洋一云。鳴一聲之。
一両。伯法義懐。怪敬白
九月十二日　沙弥
進上　侍者清中

風雪　改春　新年　新春　新禧　改年　新歳　改歳　年始　年旦　年頭　年朝　年賀　吉慶　吉兆　吉祥　慶賀　祝詞　祝辞　賀状　賀辞　加齢　加歳　迎年　迎春　年重

書札有ル所ニ之ヲ送ル。

書信ヲ送ル所ニ之ヲ往ク。

来書悔ヲ有ル所ニ之ヲ頼ル。

来書ヲ承ル所ニ之ヲ領ス。

来信ヲ得ル所ニ之ヲ領ス。

来信ヲ接スル所ニ之ヲ領ス。

来信ヲ披ク所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ開ク所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ見ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ閲スル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ看ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ観ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ披キ見ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ開キ見ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ披キ閲スル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ開キ閲スル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ披キ看ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ開キ看ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ披キ観ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ開キ観ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ披キ見閲スル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ開キ見閲スル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ披キ見看ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ開キ見看ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ披キ見観ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ開キ見観ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ披キ閲看ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ開キ閲看ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ披キ閲観ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ開キ閲観ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ披キ看観ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ開キ看観ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ披キ見閲看ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ開キ見閲看ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ披キ見閲観ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ開キ見閲観ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ披キ見看観ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ開キ見看観ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ披キ閲看観ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ開キ閲看観ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ披キ見閲看観ル所ニ之ヲ読ム。

来信ヲ開キ見閲看観ル所ニ之ヲ読ム。

重陽　閏重陽

大慶　大祝　弄璋　弄瓦　弄玉　弄珠　弄麝　弄蘭　弄瓦　弄璋　弄玉　弄珠　弄麝　弄蘭

大祝　弄璋　弄瓦　弄玉　弄珠　弄麝　弄蘭

弄璋　弄瓦　弄玉　弄珠　弄麝　弄蘭

弄瓦　弄玉　弄珠　弄麝　弄蘭

弄玉　弄珠　弄麝　弄蘭

弄珠　弄麝　弄蘭

弄麝　弄蘭

弄蘭

無矣　無事
息女　與劉
尊公　爲君
貴公　貴君
貴相　貴家
貴祥　貴夜
私　拙者
小子　野子
年前　此方
我未　各方
貴諸　皆
無諸　無諸

座天行乃木以至道名僧。
以遂其志諸師讀沐浴記。
堅言。誰我抑頭。無順教苑。
挑音。湯杖。對揚。呪耶沐木。
一言加諸。逸。給人數童。儀

無諸愛　無矣愛
無矣依　不知智
如例年　任先例
例業　四例
儀例　已忍
已憚　意外
即附　即刻
即座　糸上
糸和　糸伺
伺公　推糸
清礼　謝依
無諸　無生諸

式辨。大切之法會指南。以之
爲先。一言開之。物之。緣道絢
諸房。廣。縵幕。大寶寺座。
僧養。瑤珞如意。香爐。香合。
白蓋。赤蓋。白松。法螺。燒香。

無着　程克　首尾好　難有　忝　恩意　厚志　芳志　深切　畏入　今般　此節

無難　都合克　結構　辱　恩命　恩志　入魂　深志　恐入　今度　此度　此程

造花。東机。障泥。縵頭。広
之儀也。廿日開華之樞。無其煩
法測雲之。公筆諸經所有
限只浮宣言。蕊德允。桑細
秘挑者府。云淨云

此間　近頃　先達而　先月　前年　去年　当日　今晩　今日　夜前　明日　請文

此頃　先頃　先日　先年　去月　日外　昨夜　今朝　今夕　近来　明後日　紙文

九月十三日　侍者

平入道殿　御報

入院動静遊院西堂之帘
相看之間。追日可振積中ス。
其次且為禅經且為祖經

且以猶以
往者往処
已然已去
依之隨自
親自之別自
況自別隨
此隨此儀
此条此隨之度
此隨之度當地
當所度許
其表其地
此地此拂

一人行大秋。同之結夏以前。
可往附分。禪律僧元。諸
寺諸社聖道元徒。局法之
事。但附跡花法。僧拘布
施之次第。其故実。調其来之

打拂 匹同
匹門 匹寡
安心 安堵
安恵 安宕
如命 如作
来諭 来来
来宕 其後
以来 已後
此後 久々
永々 打拂
良久 暫
無程 鳥渡

仁古光行者等中。蓋周之仁。
宣今存初乾。委細一々。承給
也。禪家之堂頭和尚。東堂
西堂。安。聖事方。新事。監事
副事。浴主。典座。書蔵。新官

一寸　暫時
早速　織
急々　急速
即座　即刻
只今　急拵
至急　至急
紛紛　紛忙
兎角　兎角
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
繁多　多用

多忙　忙
閑暇　閑日
周障　障然
泥雑　紛紛
込込　交交
取添　差添
根子　混雑
[illegible]　粗
委曲　委細
委敷　頃日
承知　承引
承受　承諾

新開修造之節寄進及願
前方之不審後審支前庭
書記蔵主維那知客焼香
侍者去状請客湯茶衣鉢
木像看経外普請之堂塔

頭治之旦過之請出之帳之
出挿帳食所看来頭副参
望来往頭雲司庫司炭頭
調菜人之看尼記出納山守
本寺門中大衆振舞之綺麗

長老和尚與羅漢供殊戒
人之済度者道之一寺検
校割何尚者重學以疑立
院主侍者先達所聞衆法
標律沙儒語法中僧正自

代勤進小別當沙業所作
奉已律家達鉢書寄尚
都維那寺主上座下坐
寄住其外有職僧綱僧
院未猶以於禅家者律儀

對談 接拶
無釈 叮嚀
招請 請待
無上 無偈
無辭 發出
退出 歸宅
歸路 偽宿
在宿 在宅
閑帳 閑日
手透 徒然
横葬 淋愛
退屋 病氣

無之僧陪堂外僧堂聖
堂垣僧從使同朋推參之
道俗陪附之客人經人數云
跡石云布施物紀藕江四涯
給之下之所之諸事皆覺

平外 打外
養生 所著物
所送物 所載
辭味 貴味
貴甑 酪酊
滿腹 夥愛
多分 深山
極山 拶樂
拶所 慰
家作 造作
當請 造立
新宅 隱居

之外世而頼作不貽名底法來
之者於本望之無文生之所
中入之掛塔僧事世相遠
能辭容作之畏入作每事
稱無辭之次作名之謹之

別家　同家
親類　親属
本家　同家
家督　相續
名行　交往
讓渡　吉日
良辰　吉辰
日擇　日柄
日和　引移
移徙　移住
住込　入組
入込　入交

十月　監守

進上　衆神侍者禪師　右察
御礼　有。大安々辨。今事難
為下。相調兼人事。無可
然仁際。粗任為之合注

入礼　入智
老人　少児
成人　成長
岩用　發明
才智　才覚
利口　發才
家業　耕作
家職　商賣
農業　稼
骨折　働
相励　休息
休日　悔怠

進下。御施物事。被物。祿
物不一社畧之。方丈西雲
者。縁家小袖。一重宛。素羅
青黒羅。二法紗。顯紋紗。花
黒羅無。第第第。一三端。上品

怠慢　始末
懈素　勤略
勤宦　勤勉
勤労　勤学
算勘　算用
失墜　費
無益　無尽
無勘　無道
無理　無体
穿鑿　詮議
吟味　検断
理運　拘惑
贔屓　注文

細美茶紙筆方丈素紗梅
花無襟單衫繡花緞帛
等各一配首方素絹袈裟
沙弥各一帖外帽子直綴
子杖脚巾帯布衫半臂

注札　注書
注文　手形
下知　下札
下濫　相紀
相調　相済
催促物　催入
令旨　為替
奉書　奉引
支折　打渡
正直　正路
誅罰　申付
注帳　相改

帯珠數巾脚布鞋靴刷床
綿帽脱履蒲団香爐香
合香香匙火箸燭台竹筅曲
承法被打敷水瓶水頭首
上件注加布施之趣全然不織

横逆 見物 結搆 出船 渡海 海上 苦労 無難 順風 順路 順道 旅足 発驚 出立 門出 出門 支度 用意 用心 仰渡 得心 得道 懐之 懐之

温糟糟鶏鼈羹羊羹猪
羹驢腸羹笋羊羹砂糖羊
羹饂飩饅頭索麺碁子麺
巻[illegible]子[illegible]
乳[illegible]附京都也

往来 大方 巨細 委細 不図 不斗 不存寄 存外 不慮 案外 無沙汰 不存 内々 内密 内証 内談 内播 内乱 内談 内外 内実 不断 不如年 不如意

伏菟曲煎餅燒餅粢興米
索餅粽糉等も客料の外
用意[illegible]粥以前和[illegible]絹
[illegible]茶具者建盞天目胡盞
焼物茶碗[illegible]茶[illegible]入

不行儀 不始末
不調法 不覺悟
不得心 分別
了簡 肝心
肝要 格別
格段 格外
相續 相應
得手 勝手
我儘 氣儘
外聞 外見
放埒 我雑
猶又 且又

盆一對茶瓶并茶合茶桶茶
巾茶杓兎足湯瓶灌子擂
并茶間水無據杓蓋豆子楪
子追膳小膳折敷同一ツ割
箸之臺汁付皿齋羹辛辣

將又 亦以
行儀 作法
法式 稽古
沙汰 仕越
請入 光來
光駕 枉駕
入來 來臨
來訪 訪問
尋問 見舞
醫術 療治
按摩 按腹
針灸 毒忌

無雪林宋無盡藏齋筆
羅蔔山葵汁之葉繊
蘿蔔黄芽牛蒡昆布烏賊
布搗布荒布黒菜數稀辞
無酬濱萵苔衛無膚子無麴拘

性氣　全性
本復　達者
丈夫　振發
能克　奏克
料理　庖丁
加減　加味
毒味　隔石
逆言　無念
失念　亡失
忘却　無言
無沙汰　等閑
疎遠　物遠

茹粉　茹子醋菜　胡瓜其漬納
豆茹豆茶　苦園豆芥菽　差
酢和油布　青苔神馬藻　戒
干甘苔　漁苔　渴煮　採茸　平
茸　碍茹菜　路辨　一門　無以

物忘　忘却
忘桃　忘念
周緣　周果
虫緒　宮味
宮殿　以來
已後　向後
後日　後來
以來　以前
前廣　幾久愛
幾重　幾度
無度　同所
同意　同心

後之菓子　生栗　橘栗　串
柿　干棗　蔬梨子　枝椎　茂田
瑞子　覆盆子　苗合草　零陵子
隨日　自然　一周　信帳　病帳
寮帳　醫帳　備荒　宣　海之愛

同氣治定
交仏交室
覚悟堪忍
仏事仏座
所至希
願願
慕
依拉
自勝我勝
魔敗佛滅

一言忘レ非。一言忘レ是。
一言忘レ悪。一言忘レ善。
一言忘レ苦。一言忘レ楽。
一言忘レ生。一言忘レ死。
一言忘レ凡。一言忘レ聖。
一言忘レ迷。一言忘レ悟。
一言忘レ煩悩。一言忘レ菩提。
一言忘レ生死。一言忘レ涅槃。
一言忘レ仏。一言忘レ衆生。
一言忘レ心。一言忘レ境界。
一言忘レ有。一言忘レ無。
一言忘レ垢。一言忘レ浄。
一言忘レ染。一言忘レ浄。
一言忘レ迷。一言忘レ悟。
一言忘レ凡。一言忘レ聖。
一言忘レ生死。一言忘レ涅槃。
一言忘レ煩悩。一言忘レ菩提。
一言忘レ悪。一言忘レ善。
一言忘レ苦。一言忘レ楽。
一言忘レ生。一言忘レ死。
一言忘レ仏。一言忘レ衆生。
一言忘レ心。一言忘レ境界。
一言忘レ有。一言忘レ無。
一言忘レ垢。一言忘レ浄。
一言忘レ染。一言忘レ浄。
一言忘レ迷。一言忘レ悟。
一言忘レ凡。一言忘レ聖。
一言忘レ生死。一言忘レ涅槃。
一言忘レ煩悩。一言忘レ菩提。
一言忘レ悪。一言忘レ善。
一言忘レ苦。一言忘レ楽。
一言忘レ生。一言忘レ死。
一言忘レ仏。一言忘レ衆生。
一言忘レ心。一言忘レ境界。
一言忘レ有。一言忘レ無。
一言忘レ垢。一言忘レ浄。
一言忘レ染。一言忘レ浄。

十月日　　衣鉢某

犯奪口慳
文余
渡悔
欲愛
残余
残多
十残
除疲
云遺
云傷
云返
云舎
云合
云遠
云聞
明白
実正
天晴
毎日
利口
利益
乃栖

盬定守
人間病苦
虚妄衆事
活相多疑
所生。開悟来入和合。

手際 扱見 扱眉 洋敷 面褐 面上 洋披 洋面 披見 披開 申上 中暢 中迹 献上 呈上 進上 手境 進入 入口境 入口一覧 懸眉 交頤 貴所 洋頤

波之典業。當所難逢下。於業院寮。有一種之仁。一二共拳達也。汁治湯治。術治書生之達者。肆大切下。此意下掌。脚氣中風上氣。陰風黄

祝網 洋網 笑網 笑眉 網交 網少 些少 狸微 狸薄 薄俊 返事 返言 口答 返却 号綱 口鼓 如新 如此 早々 忙々 行首 文章類語作

痢赤痢。肉病。肉癰。疔。脾病。瘧病。喉病。痰。蟲。膜。如形。見知。口疔。癲狂。癩病。傷寒。傷風。虚勞。雲々。萬物。同。

去播徒。合業。渴業。獨業。不

大日本國盡

丈歳門 五ケ国
山城 城 大和 和
河内 河 和泉 泉
摂津 摂
東海道 十五ケ国
伊賀 伊 伊勢 勢
志摩 志 尾張 尾
三河 三 遠江 遠
駿河 駿 甲斐 甲

任本方以名醫加減合一剤
欲令服此藥也本里之標
好物源交合食日記任業敬
望其常治方端祇地電
倭和面拝尉也僅言

任豆 豆 相模 相
武藏 武 安房 房
上総 総 下総 日上
常陸 陸
東山道 八ケ国
近江 江 美濃 濃
飛弾 飛 信濃 信
上野 上 下野 野
陸奥 奥 出羽 羽
北陸道 七ケ国

十月十一日 主税女秦
謹上 主斗頭殿
披玉章窺叢有清閑里
既分明也如仰尚道名醫
者一五ニ奏也推待醫辺

若狭 若 越前 越 加賀 加 能登 能 越中 越 越後 日上 佐渡 佐

山陰道 八ヶ国

丹波 丹 丹後 日上 但馬 但 因幡 因 伯耆 伯 出雲 雲 石見 石 隠岐 隠

山陽道 八ヶ国

讀明一流之書籍。療養左名巻達者。授群仁作。作渡唐船。伯中絶業種。高直之間。大業秘業。去斟酌之事。敢之。

計開和業之一。今年之又未

播磨 播 美作 作 伯耆 伯 伯中 日上 伯後 日上 安藝 藝 列 周防 防 長門 長 南海道 六ヶ国

紀伊 紀 淡路 淡 阿波 阿 列 讃岐 讃 伊豫 豫 列 古佐 古 西海道 九ヶ国

筑前 筑 筑後 日上

八草之湯治風呂。溫泉等。

主指費作。作房内之度。濁酒酩酊。睡眠昏沈。行儀散動。食物飽渡。和作辛労。慈慕辛苦。安逢窮屋。旅宿疲

豊前（ぶぜん）豊後（ぶんご）日上
肥前（ひぜん）肥後（ひご）日上
日向（ひうが）日 大隅（おほすみ）隅
薩摩（さつま）薩
外二嶋
壱岐（いき）壱 對馬（つしま）勞

五性名頭字尽

組し男女とも用也

本性	万	門
泳	撞	絆

勞。閑居臆氣。愁歎勞傷。閑
色失食。涼更衣食。又更衣後。
清燭飲水。淺味熱湯。寒氣
薄衣。冬天重服。皆以禁忌
之事。有清石潯。可其書

半 文 平
義 馬 梅
武 兵 卯
芳 福 満
百 米
火性 良 忠
傳 鉄 歳
亀 國 壱
吉 織 覺
角 奴 加

生也。恐惶謹云
十一月日 主斗頭殿於
進上 主税奴殿
御任國後。爲免稱移。遂
不遂面諱之間。頗如忘性日

久	岩	菊	土性	治	青	偽	重	二	長	愛
倉	九		丑	貞	栄	蝶	林	利	理	忠
			猪	六	為	鴻	中	徳	古	力

之眼迎路而陣上洛之事。
不頓青絵行來。密契其
甲斐陽行之武陽存憚誠
及推望。治氣色如何。徳而。
國々古産。旅籠振木。云

金性	恒	安	伊	虫	熊	友	次	化	順	水性	文
伊	一	森	乙	和	幸	宇	時	初	孫	平	福
											壹

祫。云恰。皆何須平。曾社
永祫之一。山他行。且任國々
隙。在廳官人不許行。府邊
被官軍形勢。若任若府
儀式官使大奏。答徳。厨禁式。

豊 勇 民
安 富 保
孫 繁 常
末 美 卯
演 兵

宮臣字号

假名書替並本字

い 以 伊 医 夷 已
イ 以 伊 醫 夷 已

ろ 呂 侶 路 漏 露
ロ 呂 侶 路 漏 露

支振之納法。敢司判官代等
沙汰。為我覺一無沽之。乃驚
古臣細奉度之。何振之面謁。
今事一遂之。忠之謹之
十二月 旨 隼人佑在原

は 八 八盤 者半
に 尓 爾 耳 丹 干
ほ 浦 本 歩 寶
へ 遍 閉 邊
と 止 登 東 計
ち 知 池 雅 恥
チ 知 池 雅 恥

謹上 誠 希 守 敬
御 消 息 忽 披 閲 珍 重 之
甚 如 沽 玉 珠 兆 来 詳 者 雖
謝 之 抑 遼 遠 之 國 恥 依 雖
通 音 信 乃 忠 池 光 法 老 病

り	里利李梨理	ぬ	怒ー努弩農	る	流ー留ー類	を
サトトシ スモ、ナシコトハリ	里利李梨理	ヌ	怒ー努弩農	ル	流ー留ー類	ヲ
						遠越乎呼尾
						和ー王輪倭
						加可ー閑嘉
						カ

深重也。何附謝之則一紙
案内之処。流涙疲労長途
窮屈。只忙殺之外無他。偏
恩問不驚之。入境若任
儀式。若府吏勢法依無殊

よ	与ー與余ー	た	多ー堂他駄	れ	連禮礼ー例	ろ
ヨ	与ー與余ー	タ	多ー堂他駄	レ	連禮礼ー例	ソ
						曾所楚ー宗
						津門ー都徒
						禰祢年ー尼
						子

子細。在廳人不日常出任恒
例事。若閑椀服盛物。
積物。無附若京物雑事
厨調種之美物。廳庭種營。
尚書不結構如成市。國言所

な	奈那れ奈	ナ 奈那（ナンヅ）—南（ナンヅ）—
ら	良ら良	ラ 良（ヨン）—羅樂（ウスモノタヽシミ）
む	無年年	ム 無（ナシ）—年舞六（ナシマヒロク）
う	宇宇	ウ 宇（ノキ）—有得卯（アルウルボウ）
ゐ	居井ゐ	井 居井爲猪豕（キヨセイタヽ井ノシヽ井ノコ）
の	乃能農濃迺	ノ 乃能農濃迺（スナハチコノタヽクリコイスナハチ）

之事。大略稅而當記。文書。公文回所。結解勘定。書生判官代勘文。度勘影目。檢守目記。目錄。國宰小目代。催促。巡文。不可同公事。

れ	於れ	オ 於（オイテ）—意音憶（コロオトオク）
く	久九具宮丘	ク 久（ヒサシ）九具宮丘（キウツヅサミヤオカ）
や	家屋耶夜野	ヤ 家屋耶夜野（イヘオクヨルノ）
ま	末万乃満馬	マ 末万（スヘヨロヅ）—満馬（ミツウマ）
け	笥計遣氣希	ケ 笥計遣氣希（ハコハカルツカフイキコヒネガフ）
ふ	布婦夫父歩	フ 布婦夫父歩（ヌノヲンナヲツトチヽアユム）

付。徵使。宣使。給分。交文。宛文。名主。百姓。請取。返抄。隨時。點役。說話。法服。貢絹。調進。准備。準布。海例。別納。巫至。請文。租穀。租米。送狀。納而。

と コ	古許巨去孤	江 エ	夜尤疊延枝	て テ	天—亭—弟
あ ア	阿安案婀娃	さ サ	左佐—作狹	き キ	幾起支—紀

乘法收納微納海和現物之
代之債。不納之上准拠。罪水
夫損捻回不熟損亡勘注
簿用教夫和合勘合聊世之
頻加之。諸社神祇之奉幣。

ゆ ユ	由更遊庾游	め メ	免米馬面每	み ミ	三見—美—
し シ	之—志新茲	ゑ エ	惠—會咲衛	ひ ヒ	悲—飛—肥

寺之入堂。所之法會。連之仏
事。事先例。世之怠惰以之。想而
世失儀之黎民而納法之利
潤。莫不通。世雖濫之鄉保而
正貢之現利巨寶也。万事

モ
毛母也茂裳
毛母—茂裳

セ
世也勢也瀬
世—勢—瀬

ス
春也須主
春—須—主

十二支

子也寅
卯辰巳
午未申
酉戌亥

經雅意一向無遺礼。
事隨多雖盡紙面候
後日恐惶謹言
十月百 越前守儀祐
謹上 隼人佐敬

御家流山栖堂主人書

誤字改正

庭訓往來全

東都書肆
馬食町四丁目
文江堂梓